


# 倉敷市立自然史博物館報

31

(令和3年度)

第30回特別展  
**きらめき☆ときめき昆虫展**



写真の虫を展示会場で探してみよう

会期:2021年7月15日(木) 倉敷市立自然史博物館  
~9月12日(日) 共催:倉敷市立自然史博物館友の会

倉敷市立自然史博物館

令和4年7月1日発行

# 目次

## I. 資料収集保管事業

- 1 寄贈標本 . . . . . 1
- 2 館員による採集 . . . . . 3
- 3 購入 . . . . . 3
- 4 寄託 . . . . . 3
- 5 受入れ点数の推移と受入れ方法の内訳 . . . 4
- 6 二次資料 . . . . . 4
- 7 登録済み資料点数 . . . . . 5
- 8 標本整理ボランティアの活動 . . . . . 5
- 9 博物館のお宝探検 . . . . . 5
- 10 館外者による収蔵資料の利用 . . . . . 5
- 11 収蔵資料を活用した業績 . . . . . 5
- 12 収蔵設備の充実 . . . . . 6
- 13 収蔵庫の燻蒸 . . . . . 6

## II. 調査研究事業

- 1 機関研究 . . . . . 7
- 2 分野別研究テーマ . . . . . 7
- 3 研究業績などの公表 . . . . . 7
- 4 査読 . . . . . 11
- 5 標本レスキュー . . . . . 11

## III. 展示事業

- 1 常設展 . . . . . 11
- 2 特別展 . . . . . 11
- 3 特別陳列 . . . . . 12
- 4 ミニ水族館の展示 . . . . . 12
- 5 常設展示の更改 . . . . . 12
- 6 生きた動植物の展示 . . . . . 13
- 7 恐竜と季節の植物のぬり絵 . . . . . 13
- 8 自然情報掲示板の設置 . . . . . 13
- 9 まちかど博物館 . . . . . 13
- 10 他館展示協力 . . . . . 13

## IV. 教育普及事業

- 1 自然観察会 . . . . . 13
- 2 博物館講座 . . . . . 14
- 3 特別展・特別陳列関連イベント . . . . . 14

- 4 自然の標本なんでも相談会 . . . . . 14
- 5 地学教室 . . . . . 14
- 6 むしむし探検隊 . . . . . 14
- 7 自然素材を使った手作り教室 . . . . . 14
- 8 スライド写真会 . . . . . 14
- 9 昆虫標本作り体験教室 . . . . . 14
- 10 第21回 11月3日は自然史博物館まつり . . 14
- 11 自然史博物館秋冬スペシャル . . . . . 14
- 12 ないと・みゅーじあむ . . . . . 14
- 13 出版物 . . . . . 14
- 14 レファレンス . . . . . 15
- 15 ガイダンス . . . . . 15
- 16 博物館実習生等の受け入れ . . . . . 15
- 17 講師派遣 . . . . . 15
- 18 マスコミ報道 . . . . . 16
- 19 学校用標本の貸出 . . . . . 17
- 20 倉敷市立自然史博物館友の会の活動 . . . 17

## V. 庶務

- 1 沿革 . . . . . 19
- 2 各室現有面積 . . . . . 20
- 3 組織 . . . . . 20
- 4 委員、役員委嘱 . . . . . 21
- 5 会議等派遣 . . . . . 22
- 6 広報活動 . . . . . 22
- 7 職員の研修参加 . . . . . 23
- 8 視察来館 . . . . . 23
- 9 無料開放 . . . . . 23
- 10 予算・決算 . . . . . 23
- 11 年間利用者数 . . . . . 24

- 倉敷市立自然史博物館中期計画の点検
- 倉敷市立自然史博物館の運営方針
- 倉敷市立自然史博物館の資料収集方針
- 倉敷市立自然史博物館条例
- 倉敷市立自然史博物館条例施行規則
- 利用案内

# I. 資料収集保管事業

## 1 寄贈標本 (敬称略)

### (1) 地学分野 (11件計約324点)

4月27日	砂	1点	狩山俊悟
7月28日	ひすい輝石 (岡山県新見市大佐)	1点	小林祥一
8月3日	化石, 鉱物	約100点	小坂和之
8月12日	緑柱石 (ブラジル)	1点	武智泰史
8月12日	灰鉄ざくろ石 (岡山県新見市河本ダム)	1点	武智泰史
11月27日	貝化石 (岡山県高梁市川上町芋原)	1点	江田伸司
1月6日	軽石 (沖縄県島尻郡南大東村南大東島)	1点	狩山俊悟
2月8日	岩石 (スコットランド、ヒマラヤ)	9点	鈴木茂之
2月8日	岩石薄片	約200点	鈴木茂之
3月11日	黒水晶	1点	中山繁茂
3月18日	化石, 岩石	8点	江田伸司

### (2) 植物分野 (66件計約5,483点)

4月1日	岡山県産植物標本	32点	佐乗信也
4月7日	岡山県産植物標本	2点	稲神邦代
4月7日	クロチク	1点	益田芳樹
4月7日	ザクロ果実	3点	國近敬子
4月8日	岡山県産植物標本	14点	裾分由美子
4月23日	アオネカズラ	1点	稲神邦代
4月25日	ツクバキンモンソウ	1点	和田 優
5月9日	岡山県産植物標本	1点	藤井伸二
5月9日	岡山県産タンポポ属植物標本	5点	島岡浩恵
5月9日	国内産植物標本	4点	稲神邦代
5月11日	倉敷市産栽培植物標本	1点	國近敬子
5月12日	河川水辺の国勢調査標本 (高梁川・吉井川)	35点	応用地質 (株)
5月25日	沖縄県産植物標本	2点	福田 宏
6月8日	愛媛県産植物標本	2点	荒木武夫
6月8日	クサイチゴ	1点	平岡 和
6月10日	吉備中央町産植物標本	2点	和田 優
6月10日	国内産植物標本	4点	稲神邦代
6月17日	岡山県産植物標本	1点	稲岡 勝
6月17日	国内産植物標本	244点	岡田智子
6月22日	岡山県産植物標本	9点	裾分由美子
6月23日	岡山県産植物標本	17点	力石 泉
6月24日	岡山県産植物標本	2点	和田 優
7月8日	岡山県産植物標本	21点	岡本泰典
7月8日	国内産植物標本	77点	溝手啓子
7月8日	岡山県産植物標本	16点	小橋理絵子
7月21日	国内産植物標本	3点	窪田正彦
7月22日	笠岡市産植物標本	4点	小橋理絵子

7月22日	フウセントウワタ	3点	岩藤真美
7月29日	岡山県産植物標本	1点	和田 優
7月30日	国内産植物標本	417点	岡田智子
8月6日	岡山県産植物標本	10点	小橋理絵子
8月9日	倉敷市産植物標本	8点	桐山聖惟
8月9日	国内産植物標本	10点	中藤 駿
8月12日	国内産植物標本	17点	田淵正和
8月31日	岡山県産植物標本	4点	片山 久
9月9日	岡山県鏡野町産植物標本	2点	稲神邦代
9月9日	岡山県産植物標本	19点	溝手啓子
9月10日	シロオニタケ	1点	野田和心
9月20日	岡山県産植物標本	11点	稲神邦代
10月5日	高梁市産植物標本	1点	川上節子
10月7日	岡山県産植物標本	17点	小橋理絵子
10月10日	岡山県美作市産植物標本	20点	岡本泰典
10月12日	岡山県新見市産植物標本	23点	岡山理科大学自然フィールドワークセンター
10月12日	岡山県産植物標本	2点	川上節子
10月14日	イバラモ	1点	山野ひとみ
10月29日	維管束植物さく葉標本	80点	鐵慎太郎
11月2日	ムジナモ	1点	中山 豪
11月5日	維管束植物さく葉標本	56点	鐵慎太郎
11月11日	岡山県産植物標本	22点	小橋理絵子
11月13日	岡山県産植物標本	172点	狩山俊悟
11月20日	岡山県産植物標本	8点	小橋理絵子
11月23日	岡山県産植物標本	163点	岡田智子
12月4日	高知県維管束植物さく葉標本	30点	鐵慎太郎
12月9日	岡山県産植物標本	15点	裾分由美子
12月11日	維管束植物さく葉標本 (カヤツリグサ科)	約1,500点	片山 久
12月23日	維管束植物さく葉標本 (カヤツリグサ科)	1,023点	片山 久
1月7日	ダイオウショウ球果	21点	藤端みちよ
1月8日	維管束植物さく葉標本 (カヤツリグサ科)	1,137点	片山 久
1月9日	ダイオウショウ球果	24点	藤端みちよ
1月20日	国内産テンナンショウ属植物標本	82点	松本哲也
1月21日	岡山県産維管束植物標本	5点	小橋理絵子
1月28日	岡山県産菌類標本	2点	鐵慎太郎
2月1日	サルノコシカケ類	1点	三宅康之
2月9日	倉敷市産植物標本	13点	武則啓子
3月8日	国内産植物標本	22点	山根宏子
3月10日	国内産植物標本	34点	溝手啓子

## (3) 昆虫分野 (72件計約9,098点)

4月24日	日本産昆虫類	1点	稲神邦代	1月8日	岡山県産昆虫類	15点	小橋理絵子
5月8日	岡山県産昆虫類	5点	鐵慎太郎	1月9日	日本産昆虫類	170点	奥島雄一
5月9日	岡山県産昆虫類	3点	石原隆志	1月13日	岡山県産昆虫類	73点	奥島雄一
5月14日	岡山県産昆虫類	1点	鐵慎太郎	1月18日	岡山県産昆虫類	4点	岡本泰典
5月25日	岡山県産昆虫類	1点	奥島可奈子	1月18日	日本産昆虫類	46点	木村正明
5月26日	岡山県産昆虫類	1点	奥島雄一	1月19日	日本産昆虫類	46点	若林守男
6月1日	岡山県産昆虫類	2点	奥島雄一	1月20日	岡山県産昆虫類	52点	岩井貴志
6月8日	岡山県産昆虫類	1点	楠本雅子	1月22日	岡山県産昆虫類	1点	二神佑多
6月10日	岡山県産昆虫類	1点	鐵慎太郎	1月22日	日本産昆虫類	114点	奥島雄一
6月10日	岡山県産昆虫類	1点	溝手啓子	1月22日	日本産昆虫類	3点	藤本徹哉
7月2日	岡山県産昆虫類	15点	小橋理絵子	1月27日	岡山県産昆虫類	98点	奥島雄一
7月7日	岡山県産昆虫類	4点	田中昌子	1月30日	岡山県産昆虫類	23点	奥島雄一
7月8日	日本産昆虫類	1点	小橋理絵子	2月1日	岡山県産昆虫類	368点	斉藤陽一
7月23日	岡山県産昆虫類	1点	鐵慎太郎・小橋理絵子	2月6日	日本産昆虫類	1,377点	末長晴輝
7月31日	日本産昆虫類	2点	千田嘉博	2月20日	日本産昆虫類	177点	武田雅生・武田寛生
8月3日	岡山県産昆虫類	5点	奥島雄一	2月20日	日本産昆虫類	1,066点	奥島雄一
8月11日	岡山県産昆虫類	1点	溝手啓子	3月6日	日本産昆虫類	322点	奥島雄一
8月11日	日本産昆虫類	1点	植松 蒼	3月9日	岡山県産昆虫類	1点	那須 敏
8月12日	岡山県産昆虫類	1点	稲神邦代	3月15日	岡山県産昆虫類	1点	小橋理絵子
8月12日	岡山県産昆虫類	3点	中田勝彦	3月23日	岡山県産昆虫類	1点	小寺三喜子
8月14日	岡山県産昆虫類	2点	吉澤智幸	3月23日	岡山県産昆虫類	1点	中村 渚
8月27日	岡山県産昆虫類	50点	塩田美也子	3月23日	日本産昆虫類	6点	吹抜清民
9月9日	岡山県産昆虫類	1点	奥島雄一	3月25日	世界の昆虫類	約4,822点	浅野幸枝
9月9日	岡山県産昆虫類	2点	溝手啓子				
9月9日	岡山県産昆虫類	1点	稲神邦代	(4) 動物分野 (58件計約35,232点)			
9月10日	岡山県産昆虫類	1点	鐵慎太郎	4月30日	メジロ	1点	山崎法子
9月11日	日本産昆虫類	6点	末長晴輝	4月30日	ツグミ	1点	林 弘子
9月20日	岡山県産昆虫類	1点	片山祿弘	4月30日	アオジ	1点	山崎法子
10月1日	岡山県産昆虫類	3点	裾分由美子	5月22日	キジ剥製ほか	4点	児島崇文
10月6日	岡山県産昆虫類	1点	伊藤邦夫	6月4日	ツバメ	1点	山崎法子
10月7日	日本産昆虫類	1点	藤本徹哉	6月4日	コチドリ	1点	山崎法子
10月12日	岡山県産昆虫類	1点	宮武徳人	7月1日	ミナミヌマエビほか	2点	中田和義
10月14日	岡山県産昆虫類	6点	小橋理絵子	8月3日	貝類	11,162点	小坂和之
10月19日	岡山県産昆虫類	1点	奥島雄一	8月15日	ヤマドリ剥製	1点	大西雅文
10月19日	昆虫採集セット	13点	岡本泰典	9月5日	コハクオナジマイマイ	5点	難波稔明
10月21日	岡山県産昆虫類	2点	泉川晴波・泉川花楓	10月9日	タイマイ剥製	1点	松下豊次
10月22日	岡山県産昆虫類	3点	稲神邦代	10月19日	キジ剥製	1点	森脇 隆
10月22日	日本産昆虫類	1点	狩山俊吾	10月21日	フクロウ	1点	坪根真理子
10月22日	岡山県産昆虫類	1点	神田佐奈恵	10月22日	タイマイ剥製	2点	守分孝治
11月17日	岡山県産昆虫類	1点	松崎昭博	10月26日	アオウミガメ剥製	1点	守屋隆志
11月21日	岡山県産昆虫類	5点	上田紀代美	10月30日	オオフウチョウ剥製	1点	中島 久
11月21日	岡山県産昆虫類	1点	榊原久美子	11月2日	コウベモグラ	1点	吉安京子
11月24日	岡山県産昆虫類	1点	中山繁義	11月10日	トラ剥製ほか	2点	本多 進
11月24日	岡山県産昆虫類	1点	林 和子	11月10日	ノコギリエイほか	3点	本多宏之
12月10日	岡山県産昆虫類	1点	四宮凜弥	11月13日	ニホンザル	1点	浮田隆一
1月4日	岡山県産昆虫類	2点	奥島雄一	11月16日	キセキレイほか	2点	藤木精二
1月6日	岡山県産昆虫類	2点	森岡正道	11月16日	オオフウチョウ剥製	1点	金子雅夫
1月6日	岡山県産昆虫類	4点	下田雅治	11月17日	カヤネズミ巢	1点	山崎法子
1月6日	日本産昆虫類	145点	奥島雄一	11月18日	オオクビキレガイ	2点	江田伸司
				11月23日	フクロウ	1点	三宅研治
				12月2日	タイマイ剥製	1点	白神直之

12月14日	ヤマドリ	1点	山崎法子	11月16日	新見市草間	6点(鐵)
12月14日	アオサギ	1点	山崎法子	11月16日	新見市草間	1点(狩山)
12月14日	シロハラ	1点	越山洋三	11月18日	倉敷市向山	5点(鐵)
12月26日	オオフウチョウ剥製	1点	伊東清司	12月1日	高梁市内山下	1点(鐵)
1月10日	シカ剥製	1点	守分 隆			
2月1日	メジロ	1点	原田 愛	(2)	昆虫分野(無記名は奥島雄一採集)	計約447点
2月1日	ツグミ	1点	原田 愛		2019年6月20~21日(追加受入)	山口県岩国市
2月1日	タヌキ	1点	國忠高広			約310点
2月1日	ヒミズ	1点	越山洋三	4月11日	和気町矢田	34点
2月1日	コウモリ類	1点	越山洋三	4月25日	倉敷市鷺山	12点
2月1日	カヤネズミ	1点	川崎嘉子	6月11日	倉敷市中央(泉川祐子)	1点
2月1日	ヌートリア	1点	森川幸子	6月20日	倉敷市中央	1点
2月1日	タヌキ	1点	寒川 愛	7月2日	倉敷市船穂町水江	2点
2月1日	ルリビタキ	1点	木下延子	7月18日	倉敷市船穂町水江(神田佐奈恵)	4点
2月1日	キジバト	1点	中田勝彦	10月1日	浅口市鴨方町本庄	10点
2月1日	キビタキ	1点	石原隆志	10月10日	浅口市鴨方町本庄	7点
2月1日	スズメ	1点	木越満佐子	10月17日	鏡野町富西谷	17点
2月1日	カワラヒワ	1点	奥島雄一	11月3日	笠岡市白石島	32点
2月1日	アトリ	1点	安達由莉	11月7日	岡山市北区天神町	3点
2月1日	ニューナイスズメ	1点	大山望実	11月16日	新見市草間	7点
2月1日	スズメ	1点	木越満佐子	11月12日	倉敷市中央(小田敦子)	1点
2月1日	オオバン	1点	原田 愛	11月21日	新見市草間	2点
2月1日	エナガ	1点	小橋理絵子	1月23日	井原市芳井町上嶋	3点
2月1日	シロハラ	1点	江木寿男	2月5日	倉敷市中央	1点
2月1日	ノゴマ	1点	木下延子			
2月1日	ニホンリス	1点	垣上滋延	<b>3 購入</b>		
2月1日	タヌキ	1点	原田 愛		なし	
2月1日	アカギツネ	1点	岩井賢一	<b>4 寄託</b>		
2月1日	キビタキ	1点	松本英子		畠田和一貝類コレクション(継続、3月31日まで)	
2月1日	シロハラ	1点	松本英子			約24,000点 鏡野町町長 山崎親男
2月1日	ジネズミ	1点	八田奈穂			
3月31日	畠田和一貝類コレクション					
		約24,000点	鏡野町			

## 2 館員による採集

### (1) 植物分野(鐵:鐵慎太郎採集、狩山:狩山俊悟採集)

計111点

4月7日	和気郡和気町矢田	1点(狩山)
6月24日	井原市美星町星田	1点(狩山)
7月21日	備前市穂浪	2点(狩山)
8月19日	新見市哲西町大野部	1点(狩山)
8月19日	新見市哲多町田淵	1点(鐵)
10月1日	浅口市本庄	4点(狩山)
10月2日	真庭市蒜山下福田	1点(狩山)
10月10日	浅口市本庄	3点(狩山)
10月13日	苫田郡鏡野町富西谷	2点(狩山)
10月20日	久米郡美咲町定宗	1点(狩山)
10月29日	和気郡和気町矢田ほか	26点(鐵)
11月5日	倉敷市水島川崎通ほか	38点(鐵)
10月31日	備前市日生町日生	4点(鐵)
11月10日	瀬戸内市邑久町虫明ほか	12点(鐵)
11月10日	備前市佐山	1点(狩山)

5 受入れ点数の推移と受入れ方法の内訳

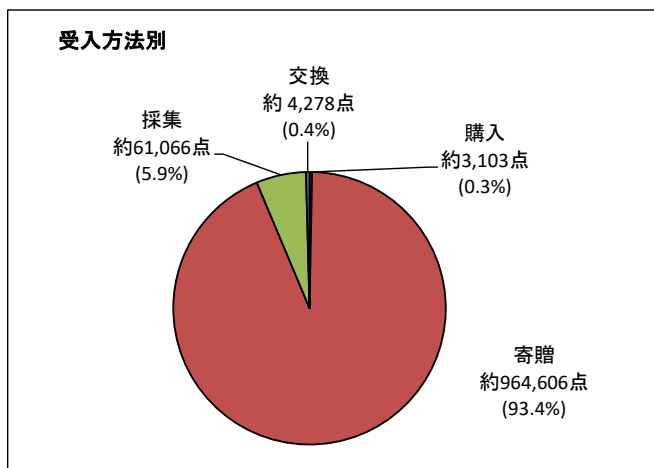
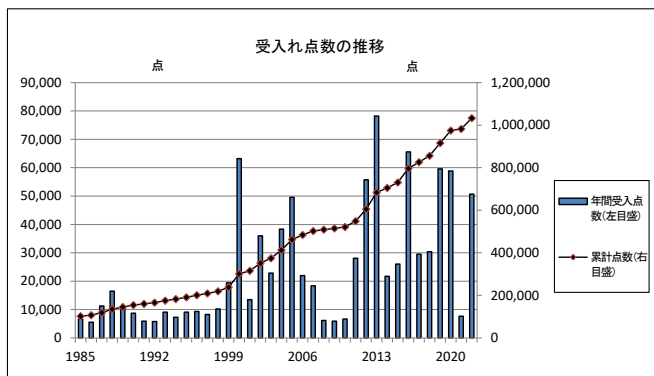
年度	地学	植物	昆虫	動物	受入れ点数	累計点数
1983以前		50,000			50,000	50,000
1983	125	1,664	約 42,627	562	約 44,978	約 94,978
1984	67	1,530	約 1,554	約 3,558	約 6,709	約 101,687
1985	153	3,079	約 1,842	445	5,519	約 107,206
1986	約 110	約 5,299	約 2,166	約 3,679	約 11,254	約 118,460
1987	約 335	約 11,559	約 1,938	約 2,660	約 16,492	約 134,952
1988	6	4,145	約 3,886	約 2,448	約 10,485	約 145,437
1989	1,057	4,138	約 2,295	約 1,217	約 8,707	約 154,144
1990	5	4,226	約 484	約 1,192	約 5,907	約 160,051
1991	0	3,672	約 708	約 1,390	約 5,770	約 165,821
1992	約 19	3,759	約 4,486	約 822	約 9,086	約 174,907
1993	398	3,583	約 2,334	約 972	約 7,287	約 182,194
1994	145	3,367	約 4,891	約 703	約 9,106	約 191,300
1995	20	3,634	約 3,413	約 2,256	約 9,323	約 200,623
1996	45	6,284	約 1,888	約 36	約 8,248	約 208,871
1997	303	6,358	約 3,227	約 316	約 10,204	約 219,075
1998	763	8,945	約 9,281	約 443	約 19,432	約 238,507
1999	25	26,852	約 36,051	約 298	約 63,226	約 301,733
2000	40	12,398	約 1,062	約 16	約 13,516	約 315,249
2001	27	12,496	約 21,630	約 1,833	約 35,986	約 351,235
2002	約 1,015	約 8,020	約 13,385	約 442	約 22,862	約 374,097
2003	11	6,662	約 31,676	約 21	約 38,370	約 412,467
2004	約 95	約 6,004	約 43,298	約 165	約 49,562	約 462,029
2005	33	約 7,224	約 13,861	約 889	約 22,007	約 484,036
2006	18	3,652	約 13,874	約 840	約 18,384	約 502,420
2007	約 216	約 4,431	約 1,393	約 98	約 6,138	約 508,558
2008	58	4,484	約 839	約 542	約 5,923	約 514,481
2009	37	3,183	約 3,230	約 206	約 6,656	約 521,137
2010	約 1,008	約 10,346	約 16,635	約 72	約 28,061	約 549,198
2011	69	9,032	約 46,371	約 269	約 55,741	約 604,939
2012	361	約 10,801	約 63,907	約 3,123	約 78,192	約 683,131
2013	61	3,305	約 17,421	約 945	約 21,732	約 704,863
2014	約 869	約 9,062	約 15,070	約 999	約 26,000	約 730,863
2015	140	5,334	約 30,068	約 30,013	約 65,555	約 796,418
2016	約 320	約 8,570	約 10,499	約 10,094	約 29,483	約 825,901
2017	約 410	約 7,876	約 20,574	約 1,500	約 30,360	約 856,261
2018	約 2,754	約 9,002	約 45,659	約 2,187	約 59,602	約 915,863
2019	約 102	約 10,206	約 48,503	約 56	約 58,867	約 974,730
2020	0	約 2,009	約 5,578	約 41	約 7,628	約 982,358
2021	約 324	約 5,594	約 9,545	約 35,232	約 50,695	約 1,033,053
合計	約 11,544	約 311,785	約 597,144	約 112,580	約 1,033,053	

6 二次資料

(1) 寄贈者、交換先(敬称略、入力完了分のみ)

〔個人〕浅井幹夫、朝日恭子、石原隆志、奥島雄一、越智和信、狩山俊悟、栗原佳子、児島崇文、清水健一、末長晴輝、裾分由美子、高田兼太、原田愛、藤井厚志、間野幹男、三宅誠治、守安敦。

〔機関・団体〕釧路市立博物館、小樽市総合博物館、北海道博物館、北方山草会、帯広百年記念館、ひがし大雪自然館、浦幌町立博物館、日本福音ルーテル帯広教育記念誌編集委員会、斜里町立知床博物館、三笠市立博物館、美幌博物館、苫小牧市美術博物館、旭川市博物館・旭川市科学館、根室市歴史と自然の資料館、北海道大学農学部、利尻町立博物館、旭川市公園緑地協会、北見市教育委員会、青森県立郷土館、岩手県立博物館、宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団、秋田県立博物館、秋田大学大学院国際資源学部附属鉱業博物館、米沢市上杉博物館、森林総合研究所、ミュージアムパーク茨城県自然博物館、那須平成の森フィールドセンター、栃木県立博物館、那須塩原市那須野が原博物館、群馬県立ぐんま昆虫の森、下仁田町自然史館、群馬県立自然史博物館、埼玉県立自然の博物館、埼玉県立川の博物館、市立市川自然博物館、山階鳥類研究所、東レ科学振興会、千葉県立中央博物館、千葉県立中央博物館房総の山のフィールドミュージアム、ふなばし三番瀬環境学習館、日本博物館協会、東京農業大学学術情報課程、府中市郷土の森博物館、国立科学博物館、日本甲虫学会、クマヒラ・ホールディングス、日本鯨類研究所、全国科学博物館協議会、国立科学博物館附属自然教育園、世界自然保護基金日本委員会、(有)むし社、日本文化財保護協会、日本昆虫協会、林原自然科学博物館、東京大学総合研究博物館、日本チョウ類保全協会、目黒寄生虫館、神奈川県立生命の星・地球博物館、平塚市博物館、横須賀市自然・人文博物館、日本大学生物資源科学部博物館、農林水産省横浜植物防疫所、環境再生保全機構、観音崎自然博物館、環境省自然環境局生物多様性センター、大町山岳博物館、飯田市美術博物館、野尻湖ナウマンゾウ博物館、長野市立博物館、長岡市立科学博物館、富山県中央植物園、富山県植物誌改訂版編集委員会、富山市科学博物館、のと海洋ふれあいセンター、石川県白山自然保護センター、石川県ふれあい昆虫館、福井県自然保護センター、福井県立恐竜博物館、福井市自然史博物館、岐阜県博物館、自然共生研究センター、瑞浪市化石博物館、沼津市歴史民俗資料館、ふじのくに地球環境史ミュージアム、NPO静岡県自然史博物館ネットワーク、熱川バナナ・ワニ園、新城市鳳来寺山自然科学博物館、なごや生物多様性保全活動協議会、豊橋市自然史博物館、豊田市矢作川研究所、三重貝なかま、三重自然誌の会、三重県総合博物館、三重県環境生活部文化振興課、鳥羽水族館、藤原岳自然科学館、日本地学研究会、関西菌類談話会、大阪市立自然史博物館、大阪府営箕面公園昆虫館、関西自然保護機構、伊丹市昆虫館友の会、伊丹市昆虫館、姫路科学館、兵庫県立人と自然の博物館、兵庫陸水生物研究会、理化学研究所生命



機能科学研究センター、神戸女子大学、近畿植物同好会、和歌山県立自然博物館、和歌山市立博物館、鳥取県立博物館、氷ノ山自然ふれあい館響の森、公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団、島根県立宍道湖自然館、ホシザキグリーン財団、(財)三瓶フィールドミュージアム財団、岡山県博物館協議会、岡山市デジタルミュージアム、倉敷昆虫同好会、岡山県自然保護センター、倉敷市市史編さん室、備前市加子浦歴史文化館・備前市埋蔵文化財管理センター、岡山理科大学自然植物園、岡山県郷土文化財団、津山市教育委員会文化課、阿智神社社務所、日本野鳥の会岡山県支部、倉敷市立自然史博物館友の会、岡山大学文学部、岡山淡水魚研究会、岡山市立オリエント美術館、日本鱗翅学会中国支部、岡山県立美術館、岡山県農林水産センター、岡山県環境文化自然環境課、日本博物館協会中国支部、岡山理科大学フロンティア理工学研究所、岡山県環境保健センター、岡山コケの会、岡山県環境保全事業団、岡山県古代吉備文化財センター、浅口市寄島町アッケシソウを守る会、倉敷野鳥の会、高梁川流域連盟、岡山県立博物館、林原自然科学博物館、岡山昆虫談話会、成羽町美術館、島根県立三瓶自然館、庄原市立比和自然科学博物館、中国電力(株)エネルギー総合研究所、広島市植物公園、豊田ホタルの里ミュージアム、萩博物館、秋吉台科学博物館、防府市青少年科学館、山口県立山口博物館、徳島県立博物館、香川大学教育学部生物学教室、香川県立ミュージアム、日本昆虫分類学会、愛媛県総合科学博物館、面河山岳博物館、高知県牧野記念財団、森林総合研究所四国支所、高知県越知町立横倉自然の森博物館、北九州市立自然史・歴史博物館、九州大学総合研究博物館、佐賀自然史研究会、天草市立御所浦白亜紀資料館、熊本博物館、熊本市立熊本博物館、九州保健福祉大学、宮崎県総合博物館、鹿児島県立博物館、農林水産省那覇植物防疫事務所。

- (2) 寄贈 (入力完了分のみ)  
単行書：241冊、雑誌：2,557冊
- (3) 交換 (入力完了分のみ)  
単行書：36冊、雑誌：546冊
- (4) 購入  
[備品] 単行書：2冊  
[消耗品] 単行書：12冊、雑誌：59冊

## 7 登録済み資料点数 (令和4年3月31日現在)

- (1) 地学 計11,420点 (内3年度1,006点)  
鉱物 2,455点 (内3年度 2点)  
岩石 1,572点 (内3年度 1点)  
化石 7,393点 (内3年度1,003点)
- (2) 植物 計249,044点 (内3年度4,609点)  
維管束植物 248,844点 (内3年度4,609点)  
コケ植物 200点 (内3年度 0点)

- (3) 昆虫 計234,169点 (内3年度5,867点)  
日本産昆虫類 191,595点 (内3年度5,077点)  
外国産昆虫類 42,574点 (内3年度 790点)
- (4) 動物 計 38,882点 (内3年度11,178点)  
無脊椎動物 22,955点 (内3年度11,170点)  
哺乳類 127点 (内3年度 0点)  
鳥類 193点 (内3年度 7点)  
両生類・爬虫類 397点 (内3年度 0点)  
魚類 15,139点 (内3年度 0点)  
その他 71点 (内3年度 1点)
- (5) 二次資料  
図書 13,438冊 (内3年度 286点)  
逐次刊行物 44,666冊 (内3年度3,374点)

## 8 標本整理ボランティアの活動

- (1) 植物分野 (敬称略)  
標本マウント：松田恵子、入江和喜、伏見滋子、大江宏、今田幸子、今田未羽、蒲生直未。延べ79人。  
タンポポ調査データ処理：入江和喜、小橋理絵子、伏見滋子。延べ31人。  
タンポポ調査データ入力：川崎嘉子。延べ24人。
- (2) 昆虫分野 (敬称略)  
岡野貴司、斉藤陽一、末長晴輝、宮原康則、山地治。延べ58人。
- (3) 動物分野 (敬称略)  
岡田千誠、小橋理絵子、山崎法子。延べ38人。
- (4) 博物館友の会脊椎動物グループ  
事業の概要：駆除個体の譲り受けと事故個体の拾得により、ボランティア主導で動物標本の作製と活用に取り組み、スキルアップを目指す。作製した標本は博物館資料として恒久的な管理のもとで展示、普及活動で活用し、博物館活動の輪を一般市民に広げる。延べ183人。

## 9 博物館のお宝探検

自由に立ち入ることができない標本収蔵庫を案内し、博物館資料の保管状況や貴重なお宝標本を見ていただいた(予約制)。植物16回44人、昆虫7回15人、動物5人。

## 10 館外者による収蔵資料の利用 (ボランティア活動、お宝探検除く、来館+貸出)

地学2件、植物18件、昆虫45件、動物1件、二次資料47件。

## 11 収蔵資料を活用した業績 (使用后、当館へ寄贈されたものも含む)

- (1) 植物分野 (6件)



大井・東馬哲雄・田中伸幸・大西亘・黒沢高秀. 帰化植物バルカンノウルシ (トウダイグサ科) の国内の分布と生育状況. 植物研究雑誌, 96 (5) : 297-303. (10月20日)

鐵慎太郎・溝手啓子. 岡山県新産の帰化植物ナタネタビラコ *Lapsana communis* L. (キク科). しぜんしくらしき, (119) : 4-5. (12月1日)

溝手啓子. 倉敷市真備町岡田でタマザキフタバムグラを採集. しぜんしくらしき, (120) : 9. (3月1日)

溝手啓子. 小田郡矢掛町江良でマルバノサワトウガラシを採集. しぜんしくらしき, (120) : 9. (3月1日)

狩山俊悟. 岡山県植物誌資料(22) 岡山県のユリ科コバイモ属. 倉敷市立自然史博物館研究報告, (37) : 43-46. (3月25日)

大西亘・鐵慎太郎. アメリカスズメウリを神奈川県に記録. FLORA KANAGAWA, (91) : 1095-1097. (3月31日)

## (2) 昆虫分野 (16件)

奥島雄一, 小島裕子さんの思い出と昆虫標本. しぜんしくらしき, (117) : 4-5. (4月1日)

山地治・奥島雄一・松本光平・千田喜博・末長晴輝・神田佐奈恵, 黒田祐一博士の遺品から発見された終戦前の昆虫標本 (岡山県外産) (1). しぜんしくらしき, (117) : 6-11. (4月1日)

有田斉・朝日純一, 珠玉の標本箱, 日本産蝶類標本写真およびデータベース(24), タテハチョウ科①, ヒョウモンモドキ・ウスイロヒョウモンモドキ・コヒョウモンモドキ. NRC出版, 77 pp. (6月30日)

Senda, Y. & C. Han, First records of the subgenus *Velleius* of the genus *Quedius* (Coleoptera: Staphylinidae: Staphylininae) from DPR Korea. Japanese Journal of Systematic Entomology, 27 (1) : 35-36. (6月30日)

Senda, Y., *Eusphalerum hibainflexum* sp. nov. (Coleoptera: Staphylinidae: Omaliinae) from western Honshu, Japan. Japanese Journal of Systematic Entomology, 27 (1) : 109-113. (6月30日)

末長晴輝・高橋元, 外来直翅類のアカハネオンブバッタとツマグロツユムシを中国地方で初確認. 月刊むし, 東京, (605) : 18-20. (7月1日)

山地治・奥島雄一・松本光平・千田喜博・末長晴輝・神田佐奈恵, 黒田祐一博士の遺品から発見された終戦前の昆虫標本 (岡山県外産) (2). しぜんしくらしき, (119) : 10-12. (9月1日)

小橋理絵子, 岡山県でマツムラハラブトハナアブを採集. しぜんしくらしき, (119) : 14-15. (9月1日)

Okushima, Y. & Y. Hsiao, An additional new species of the *Lycocerus oedemeroideus* species-group (Coleoptera, Cantharidae) from Taiwan. Elytra, Tokyo,

New Series, 11 (Supplement) : 165-172. (10月25日)

末長晴輝・守安敦, 岡山県におけるユーカリハムシの初記録. 月刊むし, 東京, (610) : 4. (12月1日)

奥島雄一, 倉敷市の街中でヒメクダマキモドキを発見. しぜんしくらしき, (119) : 5. (12月1日)

山地治・奥島雄一・松本光平・千田喜博・末長晴輝・神田佐奈恵, 黒田祐一博士の遺品から発見された終戦前の昆虫標本 (岡山県外産) (3). しぜんしくらしき, (119) : 6-8. (12月1日)

奥島雄一, #おうち観察会 3. しぜんしくらしき, (119) : 11-14. (12月1日)

水井颯麻・守安敦, 岡山県でベニトンボを初記録. すずむし, 倉敷, (157) : 3-6. (3月31日)

小橋理恵子, 備前市でアカハネオンブバッタを採集. すずむし, 倉敷, (157) : 13. (3月31日)

越山洋三・山地治・加門昭徳・中野一成, 1940~2010年代のアカマダラハナムグリの記録 8件. すずむし, 倉敷, (157) : 20-21. (3月31日)

## (3) 動物分野 (1件)

Yamakawa, Uchu, Hiroshi Senou and Yoshiaki Tsuda, 2021. Northernmost record of *Eleotris oxycephala* (Gobioidei: Eleotridae) based on a juvenile specimen from Akita Prefecture in northern Japan: renga extension along the Sea of Japan coastline. Biogeography, 23:6-12. (9月20日)

## 12 収蔵設備の充実

### (1) 購入

昆虫標本保管庫 (木製、大型ドイツ箱 24 箱用) 2 台.

### (2) 寄贈

昆虫標本保管庫 (木製、大型ドイツ箱 24 箱用、扉無し) 2 台 (浅野幸枝氏).

昆虫標本保管庫 (木製、大型ドイツ箱 20 箱用、扉無し) 2 台 (浅野幸枝氏).

### (3) 自作

昆虫標本保管棚 (木製、大型ドイツ箱深型 12 箱用) 2 台.

## 13 収蔵庫の燻蒸

場所: 第1収蔵庫 (使用薬剤: エキヒューム S)

期間: 6月20日~6月23日



## Ⅱ. 調査研究事業

### 1 機関研究

- (1) 岡山県下の自然に関する総合調査研究(調査日)  
 [地学分野: 武智泰史] 4月7日、11日、5月13日、10月1日、10日、11月16日、21日。  
 [植物分野: 鐵慎太郎] 4月7日、11日、15日、6月24日、7月23日、24日、8月19日、9月29日、10月1日、2日、10日、13日、17日、20日、11月10日、16日、21日、12月1日、1月26日、3月9日。  
 [植物分野: 狩山俊悟] 4月7日、11日、15日、6月24日、7月21日、23日、24日、8月19日、9月29日、10月1日、2日、10日、13日、17日、20日、11月10日、16日、21日、12月1日、1月26日、3月9日。  
 [昆虫分野: 奥島雄一] 4月11日、10月1日、10月10日、10月17日、11月3日、11月7日、11月16日、11月21日、1月23日。
- (2) 倉敷市内の自然に関する総合調査研究(調査日)  
 [地学分野: 武智泰史] 12月3日、12日  
 [植物分野: 鐵慎太郎] 4月14日、23日、25日、27日、5月3日、9日、13日、19日、6月1日、2日、4日、11日、17日、20日、22日、25日、7月9日、15日、27日、30日、8月11日、26日、9月10日、22日、28日、10月3日、15日、29日、11月9日、13日、18日、20日、12月3日、12日、15日、27日、1月6日、21日、2月3日、18日、3月3日、18日、31日。  
 [植物分野: 狩山俊悟] 7月9日、8月8日、9月28日、11月13日、18日、19日、20日、25日、1月6日、31日、2月13日、3月14日。  
 [昆虫分野: 奥島雄一] 4月25日、7月2日、7月18日、8月4日、10月7日、10月15日、10月19日。  
 [動物分野: 江田伸司] 10月2日、10月16日、11月13日

### 2 分野別研究テーマ

- (1) 地学: 武智泰史  
 地質鉱物の研究。
- (2) 植物: 鐵慎太郎  
 ア 岡山県産植物の分類、地理学的研究。  
 イ 海岸植生の特性、海岸植物の生態の研究。  
 ウ 特殊岩地の植生、植物相の調査。
- (3) 植物: 狩山俊悟  
 ア 岡山県産植物の分類、地理学的研究。  
 イ 宇野確雄植物コレクションの分類学的研究。  
 ウ 「岡山県植物誌研究会」に対する研究支援。  
 エ 岡山県高梁市の植物相調査。  
 オ 「タンポポ調査・西日本2020」への参加。

- (4) 昆虫: 奥島雄一  
 ア 岡山県の昆虫調査。  
 イ ジョウカイボン科(コウチュウ目)の分類学的研究。  
 ウ 自然史資料の収集と活用について。

- (5) 動物: 江田伸司  
 岡山県の動物調査。

### 3 研究業績などの公表

- (1) 博物館講座「学芸員研究紹介」(教育普及事業に再掲)  
 1月9日、「堆積岩の種類とでき方」、演者: 武智泰史、20(4)名。  
 3月19日、「タンポポ調査・西日本2020報告&海岸植物の世界」演者: 狩山俊悟・鐵慎太郎、25(0)名。  
 3月12日、「ブッポウソウについて」演者: 江田伸司、(中止)。
- (2) 博物館講座「むしむし探検隊研究発表会」(教育普及事業に再掲)  
 3月20日(倉敷市立美術館)、「台湾産甲虫(ジョウカイボン科)の新種について」演者: 奥島雄一、36(13)名。
- (3) 当館より発行された刊行物  
 倉敷市立自然史博物館研究報告第37号、3月25日、550部発行、A4判、47ページ、本文一部カラー、寄贈交換先へ配布するほか、1部1,056円(税込)で有料頒布。収録報文  
 (\*は館外研究者)  
 [論文]  
 岡本泰典\*: 岡山県における昭和5年の「生物採集動員」  
 末長晴輝\*: 岡山県におけるネクイハムシ亜科(ハムシ科)の分布記録  
 中田昇吾\*・難波杜夫\*・田口栄次\*・鈴木茂之\*・石垣忍\*: 岡山県高梁市川面町井才に分布する中新統と産出化石群  
 野嶋宏一\*: 岡山県のトビケラ相(第二報)  
 [ノート]  
 狩山俊悟: 岡山県植物誌資料(22)岡山県のユリ科パイモ属  
 [短報]  
 瀬島翔馬\*・小橋理絵子\*: タケワタフキヒゲマダラアブラムシの岡山県からの初記録(半翅目、アブラムシ科)
- (4) 当館以外の刊行物への寄稿(127件)  
 ア 武智泰史: 地学担当(12件)  
 ノルウェー西海岸地域のざくろ石かんらん岩。しぜんしくらしき、(117): 1。(6月1日)

ルビーとサファイア、自然のおはなし、山陽新聞。  
(6月13日)

和気町藤野の和気水銀鉱山の球状辰砂。しぜんしくらしき、(117):3。(6月1日)

自然金。しぜんしくらしき、(117):19。(6月1日)

かんらん石からなるコンドリユール。しぜんしくらしき、(117):20。(6月1日)

自然金。しぜんしくらしき、(117):20。(6月1日)

モロッコ産のアンダルシアナ属の三葉虫の化石。しぜんしくらしき、(118):1。(9月1日)

ヨーロッパ・アルプス山脈、自然のおはなし、山陽新聞。(11月14日)

加賀郡吉備中央町加茂鉱山のモリブデン鉛鉱。しぜんしくらしき、(118):5。(12月1日)

吉井川中流の河原の岩石。しぜんしくらしき、(118):5。(12月1日)

共著：田中良・武智泰史・石山大三、長野県天龍村神豊太陽鉱床産の鉱石鉱物について、伊那谷自然史論集、飯田市美術博物館、23:13-26。(3月)

共著：森下英治・武智泰史、辰砂鉱石(結晶片)に随伴する鉱物の調査、県立善通寺養護学校移転に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 旧練兵場遺跡(第26次調査)、香川県教育委員会、第2分冊、385-390。(3月)

#### イ 鐵慎太郎：植物担当(11件)

着任挨拶。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(353):16。(5月8日)

共著：鐵慎太郎・星野義延・吉川正人、神奈川県三浦半島の岩石海岸における草本群落の立地条件および保全上重要な種との結びつき。植生学会誌、38:17-35。(6月25日)

ニシキソウ、赤い茎、緑の葉 対比美しく。自然のおはなし、159、山陽新聞(さん太タイムズ)、(49635):6。(8月8日)

ちょっとひといき「ナウなうカフェ」：樗豆腐(かしどうふ)をつくろう。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(358):5-6。(10月9日)

コケモモ(ツツジ科)を岡山県内で再確認。しぜんしくらしき、(119):2-3。(12月1日)

共著：鐵慎太郎・溝手啓子、岡山県新産の帰化植物ナタネタビラコ*Lapsana communis*L.(キク科)。しぜんしくらしき、(119):4-5。(12月1日)

ロゼット、冬を越す草たちの姿。自然のおはなし、164、山陽新聞(さん太タイムズ)、(49790):6。(1月16日)

ドイツ自然観察記1 ー北海沿岸の砂丘後背地の自然ー。しぜんしくらしき、(120):12-16。(3月1日)

共著：市場至・鐵慎太郎、埼玉県入間地域におけるマヤランおよびサガミランの分布状況と生態。埼玉県立自然史博物館研究報告、16:25-28。(3月24日)

共著：大西亘・鐵慎太郎、アメリカスズメウリを神奈川県に記録。FLORA KANAGAWA、(91):1095-1097。(3月31日)

植物分野の調査研究などについて。岡山県博物館協議会会報 岡山の博物館、61:7。(3月)

#### ウ 狩山俊悟：植物担当(39件)

第313回シダ観察会ー倉敷市(旧船穂町)と総社市(旧清音村)ー(2021年2月8日)報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(352):2。(4月10日)

「タンポポ調査・西日本2020」が始まりました。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(352):4。(4月10日)

第29回特別展「岡山県のレッドデータ生物2020~植物編~」展示解説を開催。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(352):6。(4月10日)

博物館講座「岡山県のキク科アゼトウナ属&タンポポ調査2020中間報告ー学芸員研究紹介ー」を開催。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(352):6。(4月10日)

植物教室「真備図書館周辺の植物」(真備図書館再開記念行事)を開催。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(352):6。(4月10日)

岡山県に4種類自生、キク科アゼトウナ属の植物、自然のおはなし。山陽新聞(さん太タイムズ)。(4月11日)

第314回シダ観察会ー笠岡市ー(2021年3月15日)報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(353):10。(5月8日)

「タンポポ調査・西日本2020」を5月末日まで実施。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(353):11。(5月8日)

ミニ展示を「タンポポ調査・西日本2020」に更新。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(353):15。(5月8日)

共著：黒崎史平・小林禎樹・橋本光政・狩山俊悟。兵庫県産リュウキュウコザクラ(サクラソウ科)。植物地理・分類研究、69(1):91-98。(5月31日)

松島(倉敷市下津井)の海岸性植物。しぜんしくらしき、(117):12。(6月1日)

「タンポポ調査・西日本2020」の野外調査が終了。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(354):4。(6月12日)

ミニ展示「岡山県のキク科アゼトウナ属」、幻の展示となるか。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(354):6。(6月12日)

第316回シダ観察会ー備前市(旧吉永町)ー(2021年5月31日報告)：倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(355):2。(7月10日)

「タンポポ調査・西日本2020」の取りまとめ状況(2021年7月)。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(355):4。(7月10日)

特別陳列「宮澤賢治の石ものがたり」報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(355): 5. (7月10日)

涼しい地域の植物に親しみ、宮澤賢治作品、自然のおはなし158. 山陽新聞(さん太タイムズ). (7月11日)

第317回シダ観察会—新見市(旧新見市)—(2021年6月21日)報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(356): 2. (8月14日)

「タンポポ調査・西日本2020」の取りまとめ状況(2021年8月). 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(356): 4. (8月14日)

飯盛岩(岡山市東区正義)の植物. しぜんしくらしき、(118): 8. (9月1日)

第318回シダ観察会—奈義町—(2021年7月12日)報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(357): 3. (9月11日)

第319回シダ観察会—新庄村—(2021年8月10日)報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(358): 3. (10月9日)

身近な植物たち(14) ススキ. 倉敷の自然、(111): 28. (10月31日)

自由展示「旅先の自然と植物たち〜トムラウシ山、三ッ峠山、四国カルスト〜」のお知らせ. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(359): 12. (11月13日)

第320回シダ観察会—美作市(旧勝田町)—(2021年9月13日)報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(359): 5. (11月13日)

「タンポポ調査・西日本2020」の取りまとめ状況(2021年11月). 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(359): 8. (11月13日)

鷲羽山の春の植物. しぜんしくらしき、(119): 15. (12月1日)

第321回シダ観察会—真庭市(旧勝山町)—(2021年10月11日)報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(360): 5. (12月11日)

「タンポポ調査・西日本2020」の取りまとめ状況(2021年12月). 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(360): 6. (12月11日)

石灰岩地に特徴的な植物分布、カルスト台地、自然のおはなし163. 山陽新聞(さん太タイムズ). (12月12日)

第322回シダ観察会—久米郡美咲町(旧旭町)—(2021年11月15日)報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(361): 4. (1月8日)

「タンポポ調査・西日本2020」の取りまとめ状況(2022年1月). 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(361): 5. (1月8日)

ミニ展示「干支(トラ)にちなんだ植物」のお知らせ. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(361): 9. (1月8日)

第322回シダ観察会—赤磐市(旧熊山町)—(2021

年12月13日)報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(362): 4. (2月12日)

「タンポポ調査・西日本2020」の取りまとめ状況(2022年2月). 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(362): 6. (2月12日)

第324回シダ観察会—岡山市南区—(2022年1月17日)報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(363): 3. (3月12日)

「タンポポ調査・西日本2020」の取りまとめ状況(2022年3月). 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(363): 4. (3月12日)

昔の市町村の境界を知る方法. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(363): 9-10. (3月12日)

身近な植物たち(15) カワラナデシコ. 倉敷の自然、(112): 24. (3月31日)

#### エ 奥島雄一: 昆虫担当 (61件)

共著: 原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループ情報: 脊椎動物グループの活動. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(352): 3. (4月10日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(352): 4. (4月10日)

会報「しぜんしくらしき」頒布価格の改定について. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(352): 6. (4月10日)

会費表示の変更について. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(352): 6. (4月10日)

共著: 原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループ情報: 脊椎動物グループの活動. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(353): 9. (5月8日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(353): 9. (5月8日)

個人会費の変更について. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(353): 15. (5月8日)

会報「しぜんしくらしき」頒布価格の改定について. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(353): 15. (5月8日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(353): 15. (5月8日)

小畠裕子さんの思い出と昆虫標本. しぜんしくらしき、(117): 4-5. (6月1日)

共著: 山地治・奥島雄一・松本光平・千田喜博・末長晴輝・神田佐奈恵、黒田祐一博士の遺品から発見された終戦前の昆虫標本(岡山県外産)(1). しぜんしくらしき、(117): 6-11. (6月1日)

共著: 原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループ情報: 脊椎動物グループの活動. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(354): 3. (6月12日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(354): 4. (6月12日)

特別展「きらめき☆ときめき昆虫展」ボランティアスタッフ募集. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、

(354): 6. (6月12日)

令和4年度以降の会費(個人会員)を先行納入されている方へ【重要】. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(354): 6. (6月12日)

共著: 原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループ情報: 脊椎動物グループの活動. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(355): 3. (7月10日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(355): 4. (7月10日)

特別展「きらめき☆ときめき昆虫展」ボランティアスタッフ募集(再掲). 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(355): 5. (7月10日)

倉敷市立自然史博物館の催しもの案内. KURAKON、(95): 526-527. (7月15日)

共著: 原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループ情報: 脊椎動物グループの活動. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(356): 3. (8月14日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(356): 4. (8月14日)

博物館講座「昆虫の標本の作り方」報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(356): 6. (8月14日)

共著: 山地治・奥島雄一・松本光平・千田喜博・末長晴輝・神田佐奈恵、黒田祐一博士の遺品から発見された終戦前の昆虫標本(岡山県外産) (2). しぜんしくらしき、(118): 10-12. (9月1日)

新見市におけるキバネツノトンボの生息情報. しぜんしくらしき、(118): 13. (9月1日)

共著: 原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループ情報: 脊椎動物グループの活動. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(357): 2. (9月11日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(357): 4. (9月11日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(357): 9. (9月11日)

アサギマダラ. 自然のおはなし、160、山陽新聞(さん太タイムズ)、(49669): 6. (9月12日)

第30回特別展「きらめき☆ときめき昆虫展」報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(358): 1. (10月9日)

共著: 原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループ情報: 脊椎動物グループの活動. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(358): 2. (10月9日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(358): 4. (10月9日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(358): 10. (10月9日)

共著: Okushima, Y. & Y. Hsiao, An additional new species of the *Lycocerus oedemeroides* species-group (Coleoptera, Cantharidae) from Taiwan. Elytra, Tokyo, New Series, 11 (Supplement): 165-172. (10月25日)

共著: 原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループ情報:

脊椎動物グループの活動. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(359): 6. (11月13日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(359): 8. (11月13日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(359): 13. (11月13日)

倉敷市の街中でヒメクダマキモドキを発見. しぜんしくらしき、(119): 5. (12月1日)

共著: 山地治・奥島雄一・松本光平・千田喜博・末長晴輝・神田佐奈恵、黒田祐一博士の遺品から発見された終戦前の昆虫標本(岡山県外産) (3). しぜんしくらしき、(119): 6-8. (12月1日)

#おうち観察会3. しぜんしくらしき、(119): 11-14. (12月1日)

共著: 原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループ情報: 脊椎動物グループの活動. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(360): 4. (12月11日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(360): 6. (12月11日)

ご寄付をいただきました. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(360): 11. (12月11日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(360): 11. (12月11日)

令和4年度会費納入のお願い. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(360): 12. (12月11日)

共著: 原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループ情報: 脊椎動物グループの活動. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(361): 3. (1月8日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(361): 5. (1月8日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(361): 10. (1月8日)

令和4年度会費納入のお願い. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(361): 11. (1月8日)

我が家の庭から消えたカエル、その後. 倉敷の自然、(112): 11. (1月31日)

共著: 原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループ情報: 脊椎動物グループの活動. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(362): 5. (2月12日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(362): 6. (2月12日)

むしむし探検隊第2回探検報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(362): 12. (2月12日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(362): 12. (2月12日)

コクワガタ. 自然のおはなし、165、山陽新聞(さん太タイムズ)、(49818): 6. (2月13日)

共著: 原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループ情報: 脊椎動物グループの活動. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(363): 2. (3月12日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(363): 4. (3月12日)

令和4年度会費納入のお願い. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(363): 5. (3月12日)

昆虫器具あっせん品プチ情報. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(363): 9. (3月12日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(363): 10. (3月12日)

倉敷市立自然史博物館の催しもの案内. KURAKON、(97): 542. (3月31日)

竹林寺山の魅力. 岡山天文博物館60周年記念誌、p. 63. 浅口市教育委員会. (3月)

オ 江田伸司: 動物担当 (4件)

イソヒヨドリ. 自然のおはなし、156、山陽新聞 (さん太タイムズ)、(49546):7. (5月9日)

岡山県内で観察できるカモ. 自然のおはなし、161、山陽新聞 (さん太タイムズ)、(49696):6. (10月10日)

シェンク教授と清明. 博物学者佐藤清明の世界. 岡山文庫、323: 55-60. 日本文教出版. (10月26日)

カラスの仲間. 自然のおはなし、166、山陽新聞 (さん太タイムズ)、(49845):6. (2月13日)

(5) 発表・講演

ア 鐵慎太郎: 植物担当 (1件)

共同発表: 鐵慎太郎・木山加奈子・須田大樹・岩田

豊太郎、埼玉県におけるクジュウツリスゲの分布と現在および過去の植生との関係 (ポスター発表). 植生学会第26回大会、オンライン. (10月16日)

イ 狩山俊悟: 植物担当 (1件)

共同 (龍見瑞季・中村剛士・鈴木武・狩山俊悟・西野貴子). 日本のタンボポ属における淡黄色型の花色とクローンの関係 (ポスター発表). 日本植物学会第85回大会、オンライン. (9月16日)

#### 4 査読

(1) 鐵慎太郎: 植物担当 (2件)

7月18日 人と自然.

12月21日 植生学会誌.

(2) 奥島雄一: 昆虫担当 (4件)

5月19日 Elytra, New Series, Supplement, Tokyo.

6月21日 Zootaxa, New Zealand.

9月20日 The European Zoological Journal, Roma.

12月20日 The European Zoological Journal, Roma.

#### 5 標本レスキュー

人吉城歴史館の植物標本レスキュー (全282枚): 標本の返却 (3月8日).

## Ⅲ. 展示事業

### 1 常設展

[エントランスホール]

動くナウマンゾウの母子、倉敷の化石動物.

[第1展示室: 岡山県のなりたち] 展示数約270点

地球と生物の歴史、岡山県の地史、岡山県の地形、ナウマンゾウ骨格模型、倉敷市の地質と岩石、岡山県のスカルン、岡山県の岩石と鉱物、倉敷周辺の平野のなりたち.

[第2展示室: 岡山県のいきもの] 展示数約1,000点

岡山県の地形・地質と気候、岡山県の自然といきもの、阿哲の石灰岩台地、自然は変わる、ビデオコーナー.

[第3展示室: 昆虫の世界] 展示数約9,200点

体のしくみ、昆虫の歴史と分類、色と形のふしぎ、世界の昆虫、昆虫の生活、当館の昆虫コレクション、話題の虫.

[第4展示室: 植物の世界] 展示数約1,000点

生物の五界説、植物のかたち、植物のなかま、植物の分布、岡山県の植物、倉敷市の植物、くらしの中の植物、自由展示.

### 2 特別展

(1) 実施概要

標題: 第30回特別展「きらめき☆ときめき昆虫展」

会期: 令和3年7月15日(木)～8月19日(木) (9月12日まで予定のところ臨時休館により途中終了)

会場: 特別展示室・講義室

主催: 倉敷市立自然史博物館

共催: 倉敷市立自然史博物館友の会

観覧料: 通常観覧料

チラシ: 61,000枚 高梁川流域の児童・幼児に配布

YouTube動画作成・公開

(2) 展示内容

自然史博物館が収蔵する世界中から集められた昆虫標本コレクションから、特に色彩の美しい仲間を中心に約200箱(標本点数約8,800点)を展示し、観覧者自身のスマートフォン等での標本撮影やマイクروسコープを使った標本観察を楽しめるコーナー(写真)を設けた。



### (3) 関連イベント

#### 「むしむしサロン」

別室（講義室）で「むしむし探検隊」隊員らによる生きている昆虫の生態展示等のコーナーを設けた（7月17日～8月13日、8月17日～8月19日：9月12日までの予定のところ短縮）。出品者数24名、出品点数50ケース。

#### 「きらめき☆ときめき昆虫座談会」

開催日：8月1日（日）

会場：倉敷市立美術館講堂

話題提供：奥島雄一、末長晴輝、千田喜博、安田剛長、小橋理絵子、磯野裕昭

参加者数：79（中学生以下：29）名

### (4) 実績

会期中の観覧者数 7,558名

満足度 98% (n=66)

## 3 特別陳列

- (1) 「新着資料展<昆虫 前期>」4月10日～5月5日、特別展示室、中山一郎コレクション（約2,095点）、間野幹男コレクション（約3,475点）を展示。
- (2) 「新着資料展<昆虫 後期>」5月9日～5月13日（臨時休館により途中終了）、特別展示室、澤田博仁コレクション（約16,000点）を展示。
- (3) 「畠田和一貝類コレクション展4 畠田和一が採集していた岡山県の絶滅種2」4月10日～9月26日、2階事務室前。
- (4) 「畠田和一貝類コレクション展5 畠田和一が採集していた岡山県の絶滅危惧種1」10月9日～3月27日、2階事務室前。
- (5) 「宮沢賢治の石ものがたり」6月23日～7月4日、特別展示室。 展示解説7月3日。

- (6) 「みんなの動物ラボ」（脊椎動物グループ）10月1日～11月6日、特別展示室。
- (7) 「第29回しぜんしくらしき賞作品展」11月13日～1月5日、特別展示室、共催：倉敷市立自然史博物館友の会、出品点数29点。
- (8) 「新着資料展2021<総合>」1月22日～4月10日、特別展示室。

## 4 ミニ水族館の展示（敬称略）

- (1) アユモドキ飼育展示  
7月24日～ 協力：岡山市教育委員会・倉敷芸術科学大学生命科学部生命科学科山野研究室
- (2) 動植物の提供など
 

8月7日	ミナミメダガ、ヒメゲンゴロウ類	泉川晴波
8月20日	ハイロゲンゴロウ	末長晴輝
8月20日	ミズカマキリ	市村繪文
8月21日	タイコウチ、ハイロゲンゴロウ	大野勝登
3月21日	ヤンマ科幼虫	加藤真衣・加藤詩
- (3) 淡水魚の管理委託  
倉敷芸術科学大学生命科学部生命科学科山野研究室：山野ひとみ、岡畑 巧、延べ75回。

## 5 常設展示の更改

- (1) 第3展示室  
「当館の昆虫コレクション」随時更新。  
「話題の虫」：岡山県から昭和天皇に献上された90年前の昆虫標本を発見（ポスター）、コガタズメバチ、キョウトアオハナムグリ、アサギマダラ、タイワントビナナフシ、コクワガタ。
- (2) 第4展示室「植物の自由展示」  
1月16日～4月13日 『「環境省レッドリスト2020」に掲載された絶滅危惧植物』。  
4月14日～6月1日 「タンポポ調査・西日本2020」。  
6月2日～7月13日 「岡山県のキク科アゼトウナ属」。  
7月14日～12月11日 「虫にちなんだ名前をもつ植物」。  
12月12日～2月3日 「干支（トラ）にちなんだ植物」。  
2月4日～6月2日 「磯に生える野菊たち」。

## 6 生きた動植物の展示

1月5日～1月20日 「春の七草」。

提供：貝原千恵子

## 7 恐竜と季節の植物のぬり絵

- (1) 恐竜：ティラノサウルス、トリケラトプス、プテラノドン。

- (2) 季節の植物：ゲンゲ（4月）、アケビ、ミツバアケビ（5月）、ナワシロイチゴ、ノイバラ（6月）、ツユクサ（7月）、メマツヨイグサ（8月）、ミズアオイ（9月）、イシミカワ・チャノキ（10月）、コナラ・チャノキ（11月）、ナルトリイバラ（12月）、ホトケノザ・ウメ（1月）、ナズナ・ウメ（2月）、オオイヌノフグリ（3月）

## 8 自然情報掲示板の設置

1階受付前に設置し、最新の自然の話題などを紹介している。随時更新。

## 9 まちかど博物館（高梁川流域連携中枢都市圏事業）

当館が所蔵する岩石、鉱物、化石、植物、昆虫、動物などの本物の標本を、移動可能な展示ユニット計60台に仕立てて、公共性の高い施設、または市民や観光客らが集う施設を対象として貸し出ししている。

令和3年度新規貸出実績：延べ18施設、34台（継続含まず、更新含む）。設置先（複数回は単一化）：倉敷市立児

島図書館、倉敷市立中央図書館、中洲保育園、倉敷市立船穂図書館、ライフパーク倉敷市民学習センター、倉敷市環境学習センター、たから保育園、倉敷市立下津井西小学校、倉敷児童館、児島児童館、倉敷市立西小学校、倉敷駅前観光案内所（倉敷市観光コンベンションビューロー）、倉敷昆虫館、倉敷市役所教育長室、橘今保育園、倉敷市立水島図書館。

## 10 他館展示協力

4月1日～3月31日 倉敷埋蔵文化財センター、常設展（哺乳類化石を貸出）。

4月1日～3月31日 岡山県自然保護センター、常設展（哺乳類化石を貸出）。

4月1日～3月31日 岡山県立博物館、常設展（哺乳類化石を貸出）。

6月9日～ 忠類ナウマン象記念館常設展示（ナウマンゾウ全身骨格模型の画像の使用許可）。

11月4日～3月31日 環境学習センター「アスエコ」、  
「絶滅しそうな昆虫たち」（岡山県のレッドデータ昆虫15箱を貸出）。

# IV. 教育普及事業

※総参加者数 2,653 (650) 名（カッコ内は中学生以下の参加人数＝倉敷市第七次総合計画指標「自然にふれたり、学んだりする活動に参加している子どもの数」）

## 1 自然観察会 参加者合計511(163)名

4月11日 第356回自然観察会「おかやま自然探訪67」和気郡和气町矢田、22(8)名。

6月26日 第359回自然観察会「ブッポウソウ観察会 in 鳥取」鳥取県南部町、中止。

7月10日 第360回自然観察会「ブッポウソウ巣立ち観察会 in 岡山」加賀郡吉備中央町・高梁市、中止。

7月18日 第361回自然観察会「夏だ！昆虫採集」倉敷市船穂町、101(48)名。

8月8日 第362回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ2021年夏&セミのぬけがら調査」倉敷市寿町、54(25)名。

10月2日 第357回自然観察会「中国山地の植物観察5～中蒜山～」真庭市中蒜山、23(0)名。

10月3日 第363回自然観察会「ミズアオイ観察会」倉敷市加須山、48(8)名。

10月10日 第358回自然観察会「高梁川流域自然たんけん1」浅口市鴨方町、49(16)名。

10月16日 第366回自然観察会「楽しい魚採り2」倉敷市酒津、37(16)名。

10月17日 第364回自然観察会「おかやま自然探訪68」苫田郡鏡野町、12(0)名。

11月13日 第367回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物

しらべ2021年秋」倉敷市寿町、65(31)名。



自然観察会【楽しい魚採り2】

11月21日 第365回自然観察会「高梁川流域自然たんけん2」新見市草間、41(4)名。

12月12日 第366回自然観察会「三吉鉱山跡での鉱物等の観察」倉敷市西坂、29(2)名。

1月30日 第369回自然観察会「ミズアオイの種まき会」倉敷市加須山、30(5)名。

2月12日 第370回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ2022年冬」倉敷市寿町、中止。

## 2 博物館講座 参加者合計86(24)名





博物館講座【昆虫の標本の作り方】

- 7月3日 「植物の採集方法と標本の作り方」、5(1)名。
- 7月4日 「昆虫の標本の作り方」、36(19)名。
- 1月9日 「学芸員研究紹介ー地学ー：堆積岩の種類と作り方」、20(4)名。
- 3月12日 「学芸員研究紹介ー動物ー：ブッポウソウについて」、中止。
- 3月19日 「学芸員研究紹介ー植物ー：タンポポ調査・西日本2020報告&海岸植物の世界」、25(0)名。
- 3月20日 「むしむし探検隊研究発表会」、後記「むしむし探検隊」に記載。
- 3 特別展・特別陳列関連イベント** 参加者合計107(30)名
- 7月3日 「宮沢賢治の作品と石を知ろう〈展示解説〉」、28(1)名。
- 8月1日 「きらめき☆ときめき昆虫座談会」、79(29)名。
- 4 自然の標本なんでも相談会**
- 8月15日 事前に標本等を預かる形で開催、20件。
- 5 地学教室**
- 1月16日 「めのうの研磨」、20(12)名。
- 6 むしむし探検隊** 参加者延べ119(51)名。
- 隊長：奥島雄一(館員)、サポートスタッフ：岡野貴司、中野一成、磯野裕昭、加藤学、末長晴輝、武田寛生、武田雅生、藤川良一、藤本徹哉、水井颯麻、安達由莉、秦啓翔、平田匠、神田佐奈恵(館員)、隊員(小5～高1)14名
- 5月9日 入隊説明会&オリエンテーション 25(11)名。
- 7月17日～8月13日、8月17日～8月19日 「むしむしサロン」出品 14(8)名。
- 9月1日～26日 「しぜんしくらしき賞」応募 14(8)名。
- 11月3日 第1回探検 笠岡市白石島、18(5)名。
- 1月23日 第2回探検 井原市芳井町上嶋、12(6)名。
- 3月20日 研究発表会(倉敷市立美術館)、36(13)名。「博物館の達人」認定 延べ2名。
- 7 自然素材を使った手作り教室**
- 毎月第2日曜日開催 6月、9月、2月は中止、延べ194(94)名。(11月、12月は後記「自然史博物館秋冬スペシャル」に記載。
- 8 スライド映写会**
- 12月11日 スライド会「旅先の自然と植物たち1～トムラウシ山、三ッ峠山、四国カルスト～」21名(0)名。
- 9 昆虫標本作り体験教室**(計5回、14(7)名)
- 希望者(事前予約)を対象とした昆虫標本作り
- 8月6日 6名、8月18日 2名、メールと電話指導 8月20日～9月30日までコロナ休館(2組お断り)10月9日 2名、11月19日 2名、12月23日 2名
- 10 第21回 11月3日は自然史博物館まつり**(中学生以下の人  
数含めない)
- 中止
- 11 自然史博物館秋冬スペシャル** 参加者合計188(78)名
- (1) 実施概要
- 2021年11月～12月にかけて、ミニイベントを開催  
共催：倉敷市立自然史博物館友の会
- (2) 関連イベント
- 11月3日 「博物館のお宝探検ー植物ー」、31(16)名。
- 11月14日 「自然素材を使った手作り教室」、40(15)名。
- 11月14日 「博物館のお宝探検ー植物ー」、13(6)名。
- 11月27日 「博物館のお宝探検ー動物ー」、5(3)名。
- 11月28日 「ミュージアムパズルをつくろう!!」、41名(22)名。
- 12月12日 「自然素材を使った手作り教室」、50(13)名。
- 12月19日 「むしむし団らん」、8(3)名。
- 12 ないと・みゅーじあむ**
- 中止
- 13 出版物**
- [パオちゃん's EYE]
- No. 49「めのう」武智泰史(4月)
- No. 50「畠田和一貝類コレクション展4」江田伸司(5月)
- No. 51「キョウトアオハナムグリの80年ぶりの同窓会」奥島雄一(6月)
- No. 52「オキナグサ」狩山俊悟(7月)
- No. 53「モチノキ科の花」鐵慎太郎(8月)
- No. 54「三吉鉱山」武智泰史(9月)
- No. 55「アユモドキの飼育展示」江田伸司(10月)
- No. 56「タイワントビバナフシ」奥島雄一(11月)
- No. 57「カルスト台地の植物」狩山俊悟(12月)

No. 58 「岡山県の塩生植物」 鐵慎太郎 (1月)

No. 59 「砂鉄」 武智泰史 (2月)

No. 60 「小坂弘貝類コレクション」 江田伸司 (3月)

#### 14 レファレンス

質問、同定依頼、研究協力、原稿校閲、マスコミ取材等への対応。

地学111件、植物280件、昆虫375件、動物171件、その他4件(計941件)。

#### 15 ガイダンス

教育普及担当職員によるエントランスホールでの案内中止

#### 16 博物館実習生等の受け入れ

(1) 博物館実習 2名  
総合分野：8月9～15日 桐山聖惟(宮崎大学)、中藤駿(岐阜大学)。

(2) 博物館見学実習  
[当館職員が対応したもの]  
10月7日 岡山理科大学 15名  
10月23日 岡山大学文学部 14名  
11月5日 岡山商科大学 16名  
11月27日 倉敷芸術科学大学 5名  
12月11日 岡山理科大学 42名

(3) インターンシップ 2名  
昆虫・動物標本分野：9月8日～12日 緒方梨乃、水島真歩(くらしき作陽大学)。

(4) 小中高校生の実習 参加者合計3(2)名  
[職場体験] (地学分野：地、植物分野：植、昆虫・動物標本分野：昆)  
7月6日～8日 倉敷市立水島中学校(植昆)2(2)名。  
8月3日～5日 倉敷市立真備陵南高等学校(地)1名。

(5) 中堅教諭等資質向上研修  
10月8、15日 谷田博美(岡山県立倉敷中央高等学校)(地昆)

#### 17 講師派遣(「出前講座」含む) 参加者合計1,216(269)名

(1) 鐵慎太郎：植物担当(4回、157(30)名)  
4月25日 「自然観察会『鷺羽山の春の自然』」、倉敷市立自然史博物館友の会、72(18)名。

7月24日 「岡山県博物館協議会30周年記念事業加盟館交流事業『夏の吉備路で植物観察』」、岡山県博物館協議会、20(10)名。

11月20日 「出前講座／身近な野生植物の観察と自然史博物館について」、倉敷市立短期大学、48(0)名。

1月16日 「自然観察会『橋で渡れるようになった島、鹿久居島の自然』」、倉敷市立自然史博物館友の会、17(2)

名。

(2) 狩山俊悟：植物担当(20回、約832(59)名)

4月5日 「市民登山学校4月定例講座『高山植物について』」、高松市スポーツ協会、約80(0)名。

4月25日 「自然観察会『鷺羽山の春の自然』」、倉敷市立自然史博物館友の会、72(18)名。

6月16日 「出前講座／倉敷市立自然史博物館について(博物館資料保存論)」(オンラインによる配信)、倉敷芸術科学大学、30(0)名。

7月24日 「岡山県博物館協議会30周年記念事業加盟館交流事業『夏の吉備路で植物観察』」、岡山県博物館協議会、20(10)名。

11月18日 「博物館資料論」、倉敷芸術科学大学、49(0)名。

11月19日 「出前講座／身近な野生植物の観察やお話」、倉敷市立第五福田小学校、32(29)名。

11月20日 「出前講座／身近な野生植物の観察やお話(倉敷美しい森の散策)」、倉敷の自然をまもる会、8(0)名。

11月20日 「出前講座／身近な野生植物の観察と自然史博物館について」、倉敷市立短期大学、48(0)名。

11月25日 「博物館資料論」、倉敷芸術科学大学、49(0)名。

12月2日 「博物館資料論」、倉敷芸術科学大学、49(0)名。

12月9日 「博物館資料論」、倉敷芸術科学大学、49(0)名。

12月16日 「博物館資料論」、倉敷芸術科学大学、49(0)名。

1月6日 「博物館資料論」、倉敷芸術科学大学、49(0)名。

1月13日 「博物館資料論」、倉敷芸術科学大学、49(0)名。

1月16日 「自然観察会『橋で渡れるようになった島、鹿久居島の自然』」、倉敷市立自然史博物館友の会、17(2)名。

2月28日 「森林資源学」、福山市立大学、38(0)名。

3月1日 「森林資源学」、福山市立大学、38(0)名。

3月2日 「森林資源学」、福山市立大学、38(0)名。

3月3日 「森林資源学」、福山市立大学、38(0)名。

3月15日 「出前講座／身近な野生植物の観察と自然史博物館について」、倉敷市環境政策課(倉敷市自然保護監視員)、30(0)名。

(3) 奥島雄一：昆虫担当(8回、227(180)名)

8月4日 「どこでも昆虫採集」、上成キラキラ児童クラブ、80(75)名。

10月7日 「どこでも昆虫採集」、くらしき作陽大学附属認定こども園(5歳児)、44(40)名。

10月15日 「どこでも昆虫採集」、くらしき作陽大学附属認定こども園(4歳児)、44(40)名。

10月19日 「どこでも昆虫採集」、倉敷市立二万幼稚園、10(8)名。

10月23日 岡山大学文学部博物館実習、14(0)名。

11月7日 「岡山県博物館協議会30周年記念加盟館交流事業 2021年秋の連続ワークショップ どこでも昆虫採集(午前)」、岡山県博物館協議会(岡山県立美術館)、8(3)名。

11月7日 「岡山県博物館協議会30周年記念加盟館交流事業 2021年秋の連続ワークショップ どこでも昆虫採集(午後)」、岡山県博物館協議会(岡山県立美術館)、13(6)名。

1月14日 「どこでも昆虫採集」、倉敷市立霞丘小学校、14(8)名。

## 18 マスコミ報道(館名、氏名公表分のみ) (64件)

### (1) 倉敷市立自然史博物館(15件)

4月3日放送 山陽放送ラジオ、「山陽新聞ニュース」、「1930年に昭和天皇に献上された昆虫標本を発見」。

4月11日以降放映 倉敷ケーブルテレビ、KCTニュース、「新着資料展〈昆虫 前期〉」。

4月14日発行 山陽新聞(社会)、「倉敷市、防災センター新設、24年度完成、担当部署を集約」。

4月17日発行 毎日新聞(岡山)、「倉敷市が庁舎再編へ、基本構想発表、防災関係部局を集約、図書館などの複合施設も」。

5月12日放映 山陽放送テレビ、「笑味ちゃん天気予報」(キバネツノトンボ)。

8月4日発行 山陽新聞(おかくらプラス)、「きらきら輝く虫ざらり、倉敷・自然史博物館特別展、チョウや甲虫標本」。

8月6日発行 読売新聞(岡山)、「ギャラリー、第30回特別展きらめき☆ときめき昆虫展」。

8月7日発行 津山朝日新聞、「わだいの、「幸せな気持ちに」、城北保育園保育士発見、ピンクのバッタ」(シヨウリョウバッタ)。

8月11日発行 山陽新聞、「採集の昆虫など名前調べ手伝い 15日に倉敷市立自然史博物館」。

10月9日発行 日本経済新聞、「親子スクール、ルビーとサファイアは同じ宝石なの?」。

10月12日発行 朝日新聞(はりま)、「茶色スズムシ遺伝の不思議、多可の主婦、自宅で交配・研究」。

12月2日発行 山陽新聞、「滴一滴」。

12月26日放送 倉敷ケーブルテレビ、「倉敷市立自然史博物館 来年の干支・寅にちなんだ植物展示」。

1月9日放映 テレビ朝日、「ももクロちゃんと!」(トラツリアブ画像)。

1月21日発行 毎日新聞、「『町の宝』保護 地域が一丸、浅口・寄島のアッケシソウ、絶滅危惧 本州唯一の自生地」。

### (2) 武智泰史: 地学担当(3件)

5月21日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッ

ピーレディオ(ナウマンの小部屋)「石英について」

10月15日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「催し事の案内」

3月18日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「花こう岩について」

### (3) 鐵慎太郎: 植物担当(6件)

5月29日発行 山陽新聞、地域ワイド版、「季節の草木に親しんで 倉敷市立自然史博物館 ツイッターで紹介」。

6月3日放送 倉敷ケーブルテレビ、「KCTニュース」、「倉敷市立自然史博物館 四季折々の植物情報をお届け」。

6月20日発行 山陽新聞、「子どもしんぶんさん太タイムズ」、「名画、植物、恐竜…おうちで身近に 倉敷市立自然史博物館 ツイッターで「花だより」」。

7月16日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)、「自己紹介、倉敷や岡山の植物の面白さ」。

7月31日 山陽新聞、「玉島・福寿院 JFE構内 アオノリュウゼツラン開花 「数十年が同時期に」」。

1月12日 OHK岡山放送、「シリーズ 寅に会いに行く④ 寅にちなんだ魚と植物」。

### (4) 狩山俊悟: 植物担当(6件)

6月18日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「特別陳列『宮沢賢治の石ものがたり』」。

11月19日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「2021年の山行・旅行を振り返って」。

12月17日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「『タンポポ調査・西日本2020』報告と干支(トラ)にちなんだ植物」。

12月22日発行 山陽新聞、「子どもの優れた理科研究ざらり、植物標本チョウの写真、『しぜんしくらしき賞』市立博物館で作品展」。

1月14日放送 玉島テレビ放送、「ミニ展示『干支(トラ)にちなんだ植物』」。

1月19日発行 山陽新聞、「名前に『トラ』ちなんだ植物標本、倉敷市立自然史博物館で展示」。

### (5) 奥島雄一: 昆虫担当(32件)

4月3日発行 山陽新聞(社会)、「1930年岡山の昆虫標本、昭和天皇来岡時に観賞、県産最古、茨城で発見、688点献上の珍種も」。

4月10日以降放映 たまテレ、「新着資料展〈昆虫 前期〉」。

4月15日放送 山陽放送ラジオ、「朝耳らじお5.5」、「新着資料展〈昆虫 前期〉」。

4月16日発行 毎日新聞(企画特集・岡山)、「倉敷市立自然史博物館・特別展「岡山県のレッドデータ生物2020」、環境の変化可視化、09年版より掲載235種増、

標本発見で絶滅判明も」.

4月16日放送 エフエムくらしき、「ナウマンの小部屋」、「昭和天皇に献上された昆虫標本を発見」.

6月26日発行 津山朝日新聞(夕刊)、「91年前の昆虫標本発見、昭和天皇に献上、県内最古688点大部分美作地方で採集、茨城県の資料館で、県内ではすでに絶滅のチョウ・ヒョウモンモドキも」.

7月発行 Kids Do、8月号、「こどもQ&A、Q.カブトムシやクワガタはなにをたべるの?」.

7月15日以降放送 たまテレ、「自然史博物館で9月12日まで、第30回特別展きらめき★ときめき昆虫展」.

7月18日放送 たまテレ、「カブトとクワガタを狙って、船穂の愛宕山で親子が昆虫採集」.

7月18日放送 倉敷ケーブルテレビ、「KCTニュース」、「倉敷市船穂町で親子が昆虫採集」.

7月23日発行 山陽新聞(くらし)、「親子でミュージアムへ、岡山県内多彩な夏休み企画展、クイズ解き美術鑑賞/「昆虫の美」標本8800点」.

7月28日発行 山陽新聞(第2全県)、「ポケモンキャラのマンホールふた、鷲羽山、美観地区に設置、管理会社が倉敷市に寄贈」.

7月29日放送 倉敷ケーブルテレビ、「KCTニュース」、「倉敷市立自然史博物館、きらめき☆ときめき昆虫展」.

7月30日放映(再) 倉敷ケーブルテレビ、「KCTコミちゃん」「くらしき自然史探検隊#3恐竜模型を修理しよう」.

7月30日放映(再) 倉敷ケーブルテレビ、「KCTコミちゃん」「くらしき自然史探検隊#07昆虫標本を見てみよう」.

7月30日放映(再) 倉敷ケーブルテレビ、「KCTコミちゃん」「くらしき自然史探検隊#12奥島学芸員が命名した昆虫」.

7月30、31日放映(再) 倉敷ケーブルテレビ、「KCTコミちゃん」「くらしき自然史探検隊#09クワガタの標本を作ろう」.

7月30、31日放映(再) 倉敷ケーブルテレビ、「KCTコミちゃん」「くらしき自然史探検隊#10チョウの標本を作ろう」.

8月5日放送 エフエムふくやま、「comすたいる」「きらめき☆ときめき昆虫展」.

8月6日放送 山陽放送ラジオ、「朝耳らじお5.5」、「ラジまるレポート」、「きらめき☆ときめき昆虫展」.

8月8日発行 山陽新聞(全県版)、「親子でいかが!自由研究、昆虫標本、捕まえやすいセミお薦め」.

8月9日放送 エフエムくらしき、「おまかせラジオ」、「おまかせ!ファイル」、「きらめき☆ときめき昆虫展」.

8月放映 吉備ケーブルテレビ、「クワガタムシ採集」.

8月20日発行 山陽新聞(倉敷・総社圏版)、「黒いバッタ捕まえた!、倉敷西小1年の池田君、出現率%「大切に育てる」」.

8月20日放送 エフエムくらしき、「ナウマンの小部屋」、「今からでも間に合う自由研究—セミの抜け殻調

べ」.

8月31日発行 神戸新聞(わがまち西播)、「スクープラボ、たつの里山に変わった虫いた、加古川の小学生鈴木万結さんが発見、外来種「シタバニハゴロモ」、高木に寄生、生態系乱す」.

10月22日発行 山陽新聞(くらし)、「岡山県自然保護センターで観察会、虫の音魅力触れる、科学親しむきっかけに、生態知りたいなら飼育も」.

10月27日以降放映 玉テレ、「みんなの動物ラボ、違いのわかるホネ展」.

10月29日発行 山陽新聞(おかくらプラス)、「動物の骨格観察して、キツネやタヌキ同部位で異なる形、倉敷市立自然史博物館」.

12月22日発行 山陽新聞(おかくらプラス)、「「しぜんしくらしき賞」市立博物館で作品展、子どもの優れた理科研究ずらり、植物標本やチョウの写真」.

1月21日放送 エフエムくらしき、「ナウマンの小部屋」、「アメリカザリガニとミドリガメが放流禁止に」.

3月24日放送 山陽放送ラジオ、「朝耳らじおGoGo、ラジまるでGOGO~ラジオカーインフォメーション」、「新着資料展2021」.

#### (6) 江田伸司: 動物担当 (2件)

9月17日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「国指定天然記念物アユモドキ飼育展示開始について」.

2月18日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「人魚のミイラの調査研究について」.

### 19 学校用標本の貸出

小学校用昆虫標本 0件

### 20 倉敷市立自然史博物館友の会の活動

(1) 会員計 725名(430組)(※令和4年3月31日現在) 個人236名、家族489名(384組)、賛助5組

(2) 役員(\*は幹事兼務)

[会長] 吉岡勉.

[副会長] 榊原久美子、溝手啓子、山崎法子、片岡博行、古谷太一、中田太海、安原信一郎、小野行弘、狩山俊悟、高嶋幸慶.

[評議員] 青野孝昭、安達由莉\*、天本隆士、泉川菰子\*、磯野裕昭\*、磯野倫広\*、伊藤邦夫、稲神邦代\*、入江和喜\*、植松志帆\*、植松蒼\*、江田伸司\*、榎本敬\*、大島宏美\*、岡本泰典\*、奥島雄一\*、小澤佑二、小野行弘、片岡法子\*、片岡博行、片山久\*、狩山俊悟、川崎嘉子\*、木下延子\*、木村浩子\*、國忠高広\*、古谷太一、小橋理絵子\*、榊原久美子、坂本明弘\*、柴田加奈\*、島岡浩恵\*、白神加奈子\*、末長晴輝\*、裾分由美子\*、高嶋幸慶、武田寛生\*、武田雅生\*、武智泰史\*、鐵慎太郎\*、中田太海、中塚栄一\*、中村雅江\*、野島淑子\*、橋

本恵子\*、橋本響\*、橋本真由子\*、原田愛\*、廣瀬正明、  
藤野睦子\*、松村真佐子\*、溝手啓子、森下裕子\*、安原  
信一郎、山崎法子、雪江祥貴\*、吉岡勉。  
[会計監査] 東伸彦、守安敦。

- (3) 自然観察会 (\*は博物館と共催、カッコ内は中学生以下)  
友の会行事のみ参加者数 計134 (27) 名。  
4月11日 第630回自然観察会「おかやま自然探訪67」  
\*和気郡和気町矢田  
4月25日 第631回自然観察会「鷺羽山の春の自然」  
倉敷市下津井、72(18)名  
5月29日 第634回自然観察会「スゲ観察会」新見市  
菅生、中止  
6月26日 第636回自然観察会「ブッポウソウ観察会  
in 鳥取」\*鳥取県西伯郡南部町、中止  
7月10日 第637回自然観察会「ブッポウソウ巣立ち  
観察会 in 岡山」\*加賀郡吉備中央町、中止  
7月18日 第638回自然観察会「夏だ！昆虫採集」\*倉  
敷市船徳町  
8月8日 第639回自然観察会「倉敷みらい公園の生  
き物しらべ2021年夏&セミのぬけがら調査」\*倉敷市寿  
町  
9月12日 第635回自然観察会「第26回シダの世界」  
新見市神郷釜村、中止  
10月2日 第632回自然観察会「中国山地の植物観察  
5～中蒜山～」\*真庭市中蒜山  
10月3日 第640回自然観察会「ミズアオイ観察会」\*  
倉敷市加須山  
10月9日 第643回自然観察会「津黒のきのご観察会」  
真庭市蒜山、45(7)名  
10月10日 第633回自然観察会「高梁川流域自然たん  
けん」\*浅口市鴨方町  
10月16日 第644回自然観察会「楽しい魚採り2」\*倉  
敷市酒津  
10月17日 第641回自然観察会「おかやま自然探訪68」  
\* 苫田郡鏡野町  
11月13日 第645回自然観察会「倉敷みらい公園の生  
き物しらべ2021年秋」\* 倉敷市寿町  
11月21日 第642回自然観察会「高梁川流域自然たん  
けん2」\* 新見市草間  
12月12日 第643回自然観察会「三吉鉱山跡での鉱物  
等の観察」\*倉敷市西坂  
1月16日 第647回自然観察会「鹿久居島の自然」備  
前市日生町、17(2)名  
1月30日 第648回自然観察会「ミズアオイの種まき  
会」\*倉敷市加須山  
2月6日 第649回自然観察会「コケ観察会」倉敷市  
玉島、中止  
2月12日 第650回自然観察会「倉敷みらい公園の生  
き物しらべ2022年冬」\*倉敷市寿町、中止  
3月6日 第651回自然観察会「倉敷市の鳥カワセミ  
をさがそう！」、中止

- (4) 特別展 (博物館と共催)  
7月15日～8月19日 第30回特別展「きらめき☆とき  
めき昆虫展」  
(5) 特別陳列 (博物館と共催)  
11月13日～1月5日「第29回しぜんしくらしき賞作品  
展」



特別陳列【第29回「しぜんしくらしき賞」作品展】

- (6) 博物館講座 (博物館と共催)  
7月3日 「植物の採集方法と標本の作り方」  
7月4日 「昆虫の標本の作り方」  
1月9日 「学芸員研究紹介—地学—：堆積岩の種類  
とそのでき方」  
3月12日 「学芸員研究紹介—動物—：ブッポウソウ  
について」、中止  
3月19日 「学芸員研究紹介—植物—：タンポポ調  
査・西日本2020報告&海岸植物の世界」  
3月20日 「むしむし探検隊研究発表会」  
(7) 自然の標本なんでも相談会 (博物館と共催)  
8月15日 20件  
(8) 地学教室  
1月16日 地学教室「めのうの研磨」  
(9) むしむし探検隊 (博物館と共催)  
(10) 自然素材を使った手作り教室 (博物館と共催)  
毎月第2日曜日開催 6月、9月、2月は中止  
(11) グループ活動  
溜川ウォッチンググループ：毎週金曜日 (共催：第3  
金曜日のみ倉敷市環境学習センター) 延べ335名  
ご近所バードウォッチンググループ：毎月1回 延べ  
109名  
倉敷みらい公園バードウォッチング：毎月1回 (共催：

- 倉敷市環境学習センター) 8月～3月 延べ80名  
 シダグループ：毎月1回 延べ83名  
 岡山県植物誌研究会：随時 登録者37名  
 タンポポ調査グループ：随時 参加者392名(2019年と2020年の合計)  
 脊椎動物グループ：随時 延べ183名  
 昆虫グループ(標本整理)：随時 延べ58名  
 友の会あつ森部(マイデザイン、動画作成)：随時 延べ175名
- (12) 第29回「しぜんしくらしき賞」(博物館と共催)  
 募集期間：9月1日～10月3日  
 審査会：10月14日  
 表彰式：11月14日  
 作品展会期：11月13日～1月5日  
 応募総数：29点
- (13) 2022年度会員証デザインコンテスト  
 募集期間：10月9日～12月5日  
 応募総数：47点(応募人数：12名)  
 審査日：12月11日  
 採 用：「虫たちのコンサート」(森元茉帆)
- (14) 自然史博物館 秋冬スペシャル(博物館と共催)  
 実施期間：11月～12月。「博物館のお宝探検<植物の巻>」、「博物館のお宝探検<動物の巻>」、「ミュージアムパズルをつくろう! 2021」、「缶バッジを作ろう」、「自然素材を使った手作り教室」、「むしむし団らん」を実施。
- (15) 会報「しぜんしくらしき」発行  
 6月1日 117号、9月1日 118号、12月1日 119号、3月1日 120号。
- (16) 連絡誌「倉敷市立自然史博物館友の会ニュース」の発行  
 4月10日 352号、5月8日 353号、6月12日 354号、7月10日 355号、8月14日 356号、9月11日 357号、10月9日 358号、11月13日 359号、12月11日 360号、1月8日 361号、2月12日 362号、3月12日 363号。
- (17) 総会の開催  
 4月25日
- (18) 幹事会の開催  
 4月10日、5月8日、6月12日(メール会議)、7月10日、8月7日、9月11日(メール会議)、10月9日、11月13日、12月11日、1月8日、2月12日(メール会議)、3月12日。
- (19) あっせん  
 図書、自然観察用品、昆虫器具等。
- (20) その他  
 ホームページ、メールマガジン、Facebookの管理・運営

## V. 庶務

### 1 沿革

昭和53年8月18日 倉敷市庁舎等跡地利用協議会(13名)設置

昭和55年3月13日 倉敷市庁舎等跡地利用協議会より、倉敷市庁舎等は「新しい文化施設を創設する気構えで、積極的に取り組む必要がある」との答申が出される

昭和56年2月3日 倉敷市議会旧倉敷市庁舎跡地利用並びに周辺開発特別委員会(13名)設置

昭和57年3月2日 旧水道局庁舎を自然史博物館として改造することが、倉敷市議会旧倉敷市庁舎跡地利用並びに周辺開発特別委員会で確定

昭和57年10月1日 自然史博物館基本構想並びに展示基本構想の策定を学識経験者(4名)に委託

昭和57年10月19日 自然史博物館基本構想確定

昭和57年11月27日 自然史博物館展示構想確定

昭和58年11月3日 倉敷市立自然史博物館開館

平成4年1月26日 倉敷市立自然史博物館友の会発足

平成6年3月27日 開館10周年記念建物1階増設並びに改装工事完成

平成9年2月4日 博物館法第12条の規定による登録博物館

平成15年3月21日 第2展示室展示更新完成

平成16年3月20日 第3展示室展示更新完成

平成17年3月20日 第4展示室展示更新完成

平成18年3月21日 第1展示室展示更新完成

平成22年4月1日 倉敷消防署大高出張所跡地を倉敷市歴史資料整備室から移管し、倉敷市立自然史博物館大高仮収蔵庫として使用開始

### 2 各室現有面積(単位：㎡) 現有面積合計 3,263.08

(1) 展示室(969.48)

エントランスホール 118.16

常設展示室(第1展示室) 200.09

常設展示室(第2展示室) 256.83

常設展示室（第3展示室）	169.28	会計年度任用	泉川 拓子（受付、教育普及、広報）
常設展示室（第4展示室）	155.16	会計年度任用	守屋千晴（受付、土日祝）
特別展示室	69.96	会計年度任用	三島あゆみ（受付、土日祝）
(2) 調査研究（184.24）		会計年度任用	三上美姫（受付、土日祝）
研究室	115.48	会計年度任用	平岡 和（植物学芸補助、土日）
工作室	45.56	会計年度任用	谷口果林（昆虫学芸補助、土日）
写真室	11.85	(2) 職員の異動	
暗室	11.35	4月1日着任	学芸員 鐵慎太朗
(3) 収蔵庫（488.87）		4月1日着任	主任 萩原知博
第1収蔵庫（動物、植物）	169.83	7月1日着任（兼務）	主幹 前田一郎
第2収蔵庫（地学）	62.25	7月15日～9月12日	会計年度任用（特別展会場係）
液浸標本収蔵庫	18.69		小池恵美
図書文献室	47.30		安達由莉
大高仮収蔵庫（敷地面積708.10）	190.80	11月17日退任	会計年度任用 守屋千晴
仮収蔵スペース（市内小学校教室2部屋、市内中学校教室2部屋）		11月20日着任	会計年度任用 大西ちひろ
(4) 教育普及（157.98）		3月31日退任	館長 高嶋幸慶
学習コーナー	47.71	3月31日退任	会計年度任用 平岡 和
ミニ水族館	14.37	3月31日退任	会計年度任用 谷口果林
講義室	95.90	(3) 倉敷市立自然史博物館協議会委員（令和4年3月31日現在）	
(5) 庶務（182.11）		[任期：令和3年12月1日～令和5年11月30日]	
連絡室	35.88	碓 京子	高梁市成羽美術館学芸員
事務室	57.59	石垣 忍	岡山理科大学研究・社会連携機構 古生物学年代学研究センター特担教授
会議室	55.45	片岡博行	医療法人創和会 重井薬用植物園長
倉庫	33.19	鴨生知久	倉敷市立玉島北中学校長
(6) 機械設備（281.59）		中西善之	倉敷市議会市民文教委員会委員
機械室（地階）	180.86	堀江明香	元大阪市立大学大学院理学研究科特任講師
機械室（収蔵庫用空調設備）	19.86	三宅誠治	日本鱗翅学会会員
機械室（屋階）	53.66	宮原勝志	倉敷市立旭丘小学校長
ボイラー室	20.25	山崎法子	倉敷市立自然史博物館友の会副会長
エレベーター機械室	6.96	吉岡 勉	倉敷市立自然史博物館友の会会長
(7) その他（998.81）			（敬称略、五十音順）
車庫	206.92	(4) 倉敷市立自然史博物館協議会の開催	
便所、廊下等	791.89	7月28日.	

### 3 組織

- (1) 職員（令和3年4月1日現在）
- 館長 高嶋幸慶（総括）
- 主幹・学芸員 奥島雄一（昆虫）
- 主任・学芸員 武智泰史（地学）
- 学芸員 江田伸司（動物）
- 学芸員 鐵慎太朗（植物）
- 主任 萩原知博（庶務、経理、教育普及）
- 会計年度任用・学芸員 狩山俊悟（植物）
- 会計年度任用 神田佐奈恵（昆虫学芸補助）
- 会計年度任用 辻 弘美（植物学芸補助）
- 会計年度任用 小田敦子（受付、教育普及、庶務）
- 会計年度任用 赤星 浩（受付、文献登録）

### 4 委員、役員委嘱

- (1) 高嶋幸慶：館長
- 令和2年4月26日～令和4年4月24日 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会.
- 令和2年4月26日～令和4年4月24日 「倉敷市立自然史博物館友の会副会長」 倉敷市立自然史博物館友の会.
- 令和元年6月1日～令和3年5月31日 「倉敷市環境審議会委員」 倉敷市.
- 令和元年5月21日～令和4年総会 「岡山県博物館協



- 議会理事」 岡山県.
- (2) 武智泰史：地学担当  
 令和2年4月27日～令和4年4月24日 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会.  
 令和2年4月27日～令和4年4月24日 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会.  
 令和4年2月～令和6年2月 「標本救済ネットワーク」 西日本自然史系博物館ネットワーク.
- (3) 鐵慎太郎：植物担当  
 令和3年4月25日～令和4年4月24日 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会.  
 令和3年4月25日～令和4年4月24日 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会.  
 令和3年12月6日～令和4年3月31日 「岡山県野生動物調査検討会植物部会協力員」 岡山県野生動物調査検討会植物部会.
- (4) 狩山俊悟：植物担当  
 平成30年7月1日～令和3年6月30日 「希少野生動物種保存推進員」 環境省自然保護局野生生物課.  
 令和3年7月1日～令和6年6月30日 「希少野生動物種保存推進員」 環境省自然保護局野生生物課.  
 令和元年7月16日～令和3年7月15日 「岡山県指定希少野生動物保護巡視員（ミズアオイ）」 岡山県環境文化部自然環境課.  
 令和3年7月16日～令和5年7月15日 「岡山県指定希少野生動物保護巡視員（ミズアオイ）」 岡山県環境文化部自然環境課.  
 令和元年10月9日～令和5年3月31日 「瀬戸内海国立公園指定植物改定に関する瀬戸内部会委員」 中国四国地方環境事務所.  
 令和2年2月10日～令和4年2月7日 「西日本自然史系博物館ネットワーク理事」 西日本自然史系博物館ネットワーク.  
 令和2年2月10日～令和4年2月7日 「標本救済ネットワークケースワーカー」 西日本自然史系博物館ネットワーク.  
 令和4年2月7日～令和6年2月 「標本救済ネットワークケースワーカー」 西日本自然史系博物館ネットワーク.  
 令和2年4月1日～令和4年3月31日 「岡山県野生動物調査検討会運営委員」 岡山県環境文化部自然環境課.  
 令和2年4月1日～令和4年3月31日 「岡山県野生動物調査検討会植物部会副部会長」 岡山県野生動物調査検討会植物部会.  
 令和2年4月26日～令和4年4月24日 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会.
- 令和2年4月26日～令和4年4月24日 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会.  
 令和3年4月1日～令和5年3月31日 「備前市文化財保護審議会委員」 備前市教育委員会.  
 令和3年5月1日～令和7年3月31日 「岡山県庭園悉皆調査委員会委員」 岡山県教育委員会.  
 令和3年6月1日～令和5年5月31日 「倉敷市文化財保護審議会委員」 倉敷市教育委員会.  
 令和4年2月28日～令和4年3月3日 「非常勤講師（森林資源学）」 福山市立大学.
- (5) 奥島雄一：昆虫担当  
 令和2年6月13日～令和4年4月24日 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会.  
 令和2年6月13日～令和4年4月24日 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会.  
 令和3年1月1日～令和4年12月31日 「日本甲虫学会評議員」 日本甲虫学会.  
 令和3年1月1日～令和4年12月31日 「日本甲虫学会和文誌編集委員」 日本甲虫学会.  
 平成31年4月13日～令和4年4月頃 「倉敷昆虫同好会幹事」 倉敷昆虫同好会.  
 令和2年4月1日～令和4年3月31日 「岡山県野生動物調査検討会委員（昆虫部会副部会長）」 岡山県野生生物調査検討会.  
 令和2年4月1日～令和5年3月31日 「岡山県環境影響評価技術審査委員会委員」 岡山県環境文化部環境企画課.  
 令和2年8月1日～令和4年7月31日 「岡山県自然環境保全審議会委員」 岡山県環境文化部自然環境課.  
 令和2年2月10日～令和4年2月7日、令和4年2月7日～令和6年2月の西日本自然史系博物館ネットワーク総会まで 「標本救済ネットワークケースワーカー」 西日本自然史系博物館ネットワーク  
 令和3年6月16日～令和4年3月31日 「小田川合流点付替え事業環境影響評価フォローアップ委員会委員」 国土交通省中国地方整備局高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所.  
 平成30年7月1日～令和3年6月30日 「希少野生動物種保存推進員」 環境省自然保護局野生生物課.  
 令和3年7月1日～令和6年6月30日 「希少野生動物種保存推進員」 環境省自然保護局野生生物課.  
 令和2年4月1日～令和7年3月31日 「岡山県自然保護センター管理運営委員会委員」 公益財団法人岡山県環境保全事業団.  
 令和2年1月1日～令和3年12月31日、「倉敷市生物多様性審議会委員」 倉敷市.  
 令和4年1月1日～、「倉敷市環境審議会（生物多様性部会）委員」 倉敷市.  
 令和3年4月23日～令和4年3月31日 「河川水辺の国勢調査アドバイザー」 国土交通省中国地方整備局.

継続 「倉敷の自然をまもる会理事」 倉敷の自然をまもる会.

継続 「日本昆虫目録コメツキグループ調整担当」  
日本昆虫目録編集委員会.

(6) 江田伸司：動物担当

継続 「日本野鳥の会岡山県支部幹事」 日本野鳥の会岡山県支部.

令和2年4月1日～令和4年3月31日 「岡山県野生動物調査検討会運営委員」 岡山県野生動物調査検討会.

令和2年4月1日～令和4年3月31日 「岡山県野生動物調査検討会委員（動物部会長）」. 岡山県野生動物調査検討会.

令和2年4月26日～令和4年4月の総会 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会.

令和2年4月26日～令和4年4月の総会 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会.

令和3年7月1日～令和5年6月30日 「希少野生動物種保存推進員」 環境省自然保護局野生動物課.

令和2年6月～令和4年6月 「佐藤清明資料保存会顧問」 佐藤清明資料保存会.

## 5 会議等派遣

(1) 高嶋幸慶：館長（1回）

5月28日 「岡山県博物館協議会役員会」（オンライン）岡山県博物館協議会.

(2) 狩山俊悟：植物担当（10回）

7月7日 「令和3年度備前市歴史文化総合活用推進協議会」、備前市教育委員会.

7月14日 「令和3年度第1回備前市文化財保護審議会」、備前市教育委員会.

7月29日 「令和3年度第1回岡山県庭園悉皆調査委員会」、岡山県教育庁文化財課.

9月24日 「西日本自然史系博物館ネットワーク2021年度第1回理事会（オンライン）」、西日本自然史系博物館ネットワーク.

9月27日 「令和3年度第1回岡山県野生動物調査検討会植物部会（オンライン）」、岡山県野生動物調査検討会植物部会.

12月10日 「西日本自然史系博物館ネットワーク2021年度第2回理事会（オンライン）」、西日本自然史系博物館ネットワーク.

1月19日 「令和3年度第2回岡山県野生動物調査検討会植物部会（オンライン）」、岡山県野生動物調査検討会植物部会.

2月4日 「岡山県野生動物調査検討会令和3年度運営委員会」、岡山県野生動物調査検討会.

2月7日 「西日本自然史系博物館ネットワーク2022年総会（オンライン）」、西日本自然史系博物館ネットワーク.

2月8日 「令和3年度第2回備前市文化財保護審議会」、備前市教育委員会.

(3) 奥島雄一：昆虫担当（6回）

8月16日 「令和3年度第1回倉敷市生物多様性審議会」倉敷市生物多様性審議会（倉敷市環境政策課）.

9月24日 「第5回小田川合流点付替え事業環境影響評価フォローアップ委員会」国土交通省中国地方整備局高梁川・小田川緊急治水対策下線事務所（リモート）.

11月26日 「岡山県自然環境保全審議会（自然保護部会・全体会議）」岡山県自然環境保全審議会（岡山県環境文化部自然環境課）.

1月18日 「岡山県野生動物調査検討会令和3年度第2回昆虫部会」岡山県野生動物調査検討会.

2月4日 「岡山県野生動物調査検討会令和3年度第1回運営委員会」岡山県野生動物調査検討会.

2月 「岡山県自然環境保全審議会（全体会議）」岡山県自然環境保全審議会（岡山県環境文化部自然環境課）（紙面開催）.

(4) 江田伸司：動物担当（2回）

10月13日 「岡山県野生動物調査検討会令和2年度動物部会」岡山県野生動物調査検討会動物部会.

2月4日 「岡山県野生動物調査検討会令和3年度第1回運営委員会」岡山県野生動物調査検討会.

## 6 広報活動

ホームページの公開および更新を行うほか、「広報くらしき」「毎月のお知らせ」「パワフルキッズ」「友の会ニュース」「FMくらしき」等でPRを行っている。そのほか、新発見や話題性のあるニュースについては記者クラブへ広報資料を提供している。また、昨年度に続き本年度も新型コロナウイルス感染症への対応として「おうちミュージアム」も活用しながら、倉敷市YouTubeチャンネルでの動画やホームページコンテンツの増加にも取り組み、SNSと連携して発信した。

ホームページビュー数：66,019回（令和4年3月31日現在）.

メールマガジン登録数（LINE配信含む）：1,207件（令和4年3月31日現在）.

メールマガジン配信数：12回.

Twitterフォロワー数：832件（令和4年3月31日現在）.  
Twitter投稿数：309回。（うち、「#くらしき花だより」55回）

Instagramフォロワー数：629件（令和4年3月31日現在）.  
Instagram投稿数：65回.

## 7 職員の研修参加（博物館業務に関するもの）

(1) 鐵慎太郎：植物担当

2月26日 「第38回自然史標本情報発信に関する研究会」(オンライン)、国立科学博物館。

11月3日 秋冬スペシャル 363名  
3月12日 ないと・みゅーじあむ 中止

(2) 狩山俊悟：植物担当

2月7日 「2021-2022 自然史系博物館 世界の動き、日本の動き」(オンライン)、西日本自然史系博物館ネットワーク。

2月26日 「第38回自然史標本情報発信に関する研究会」(オンライン)、国立科学博物館。

(3) 奥島雄一：昆虫担当

9月4～6日 「日本昆虫学会第81回大会」(オンライン開催) 日本昆虫学会。

12月4～5日 「日本甲虫学会第11回大会」(昆虫分類学若手懇談会・日本昆虫分類学会共催)(オンライン開催) 日本甲虫学会・昆虫分類学若手懇談会・日本昆虫分類学会。

1月28日 『文化審議会答申「博物館法制度」の今後の在り方を読み解く—博物館の振興に向けて—』(オンライン開催) 日本博物館協会。

2月7日 情報交換の研究会「2021-2022 自然史系博物館 世界の動き、日本の動き」(オンライン開催) 西日本自然史系博物館ネットワーク。

2月26日 第38回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会(オンライン開催) 国立科学博物館。

3月24日 リモート講演会「博物館における収蔵庫増設の実際」(オンライン開催) 千葉県立中央博物館。

8 視察来館

なし

9 無料開放

(1) 市内の小・中学生対象

いきいきパスポート利用者数 延べ408名  
高梁川流域パスポート利用者数 延べ324名

(2) 一般対象

5月5日 こどもの日 198名

10 予算・決算(単位：円)

【歳入】

科目名称	予算現額	決算額
観覧料	1,753,000	962,430
内、特別展	907,000	430,150
内、常設展	846,000	532,280
拾得金返還雑入	0	50
労働保険料精算雑入	0	4,446
観光休憩所水道料雑入	129,000	132,616
書籍売払雑入	275,000	218,052
講師等派遣雑入	30,000	278,000
合計	2,187,000	1,595,594

【歳出】

科目名称	予算現額	決算額
報酬	7,242,340	7,122,563
内、協議会委員	71,000	49,700
内、会計年度任用職員	7,171,340	7,072,863
給料	22,364,000	22,357,500
職員手当等	11,575,660	11,498,307
内、会計年度任用職員	1,433,660	1,433,660
内、正規職員	10,142,000	10,064,647
共済費	8,314,000	8,276,063
内、会計年度任用職員	1,394,000	1,356,834
内、正規職員	6,920,000	6,919,229
報償費	293,000	253,166
旅費	36,080	26,760
需用費	9,602,690	9,486,656
内、消耗品費	1,491,901	1,468,955
内、食糧費	15,000	13,288
内、印刷製本費	1,489,667	1,398,555
内、光熱水費	6,177,553	6,177,553
内、修繕料	420,200	420,200
内、飼料費	4,000	3,736
内、医薬材料費	4,369	4,369
役員費	1,000,580	961,163
内、通信運搬費	262,700	223,283
内、手数料	737,880	737,880
委託料	2,178,000	2,175,426
使用料及び賃借料	120,730	105,886
備品購入費	275,920	267,740
負担金補助及び交付金	54,000	47,000
合計	63,057,000	62,578,230

※その他の施設管理費(委託料；中央図書館支払分)  
16,290(千円)

11 年間利用者数

(1) 令和3年度利用者数(単位：人)

月	開館日数	有 料				有料入館者合計	無 料														無料入館者合計	館内利用者 (※1)	来館者合計 (A)	館外利用者 (B)	利用者合計 (A+B)
		通常		割引			個人					団体					特別観覧	乳幼児							
		一般	大学生	一般	大学生		高齢者	障がい者	小学生	中学生	高校生	保育・幼稚園児	小学生	中学生	支援学校生	高校生			その他						
4	26	433	45	0	0	478	95	26	190	23	26	0	0	0	0	90	0	63	287	800	463	1,741	125	1,866	
5	11	220	30	2	0	252	27	16	139	15	3	0	0	0	0	0	0	130	142	472	294	1,018	0	1,018	
6	7	138	6	0	0	144	23	8	39	1	2	0	79	0	0	0	0	10	67	229	132	505	0	505	
7	27	1,459	38	2	0	1,499	162	46	724	96	49	17	0	0	0	0	9	110	820	2,033	694	4,226	154	4,380	
8	16	1,584	26	1	0	1,611	107	34	920	95	109	0	0	0	0	0	0	71	870	2,206	553	4,370	134	4,504	
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10	27	663	71	0	0	734	83	35	233	25	25	0	731	0	0	0	0	44	387	1,563	616	2,913	267	3,180	
11	25	498	51	2	76	627	112	41	250	60	42	27	689	122	0	11	0	35	327	1,716	787	3,130	313	3,443	
12	23	394	18	2	40	454	79	27	118	39	44	161	15	0	0	16	0	39	221	759	493	1,706	152	1,858	
1	23	365	17	26	0	408	41	38	105	15	8	0	131	8	0	0	0	40	209	595	423	1,426	146	1,572	
2	3	21	1	0	0	22	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	12	20	23	65	0	65	
3	21	475	56	0	0	531	83	18	221	115	17	112	0	0	0	0	14	44	255	879	491	1,901	30	1,931	
合計	209	6,250	359	35	116	6,760	817	291	2,939	484	325	317	1,645	130	0	117	23	587	3,597	11,272	4,969	23,001	1,321	24,322	

- ・特別観覧：招待券持参者、友の会会員、無料開放日來館者等
- ・館内利用者（※1）：講義室での各種講座参加者、学習コーナー等利用者
- ・来館者合計（A）：有料入館者合計+無料入館者合計+館内利用者（※1）
- ・館外利用者（B）：自然観察会等参加者
- ・臨時休館日：令和3年5月14日～6月22日、8月20日～9月30日、令和4年2月4日～3月6日

(2) 年間利用者数の推移（単位：人）



(3) 学生個人・団体の市内外別内訳（単位：人）

月	個人									団体																				
	小学生			中学生			高校生			保育・幼稚園			小学校			中学校			支援学校			高校			その他					
	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計			
4	132	58	190	13	10	23	6	20	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	90	0	90	0	0	0	
5	87	52	139	9	6	15	1	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
6	24	15	39	1	0	1	1	1	2	0	0	0	0	79	79	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
7	510	214	724	53	43	96	37	12	49	0	17	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9	
8	561	359	920	53	42	95	65	44	109	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10	131	102	233	10	15	25	7	18	25	0	0	0	0	259	472	731	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
11	85	90	250	46	8	60	4	27	42	27	0	27	371	318	689	0	122	122	0	0	0	0	0	0	11	11	0	0	0	
12	57	61	118	11	28	39	7	37	44	161	0	161	15	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	16	0	0	0	
1	56	49	105	1	14	15	3	5	8	0	0	0	0	131	131	0	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	125	96	221	16	99	115	5	12	17	90	22	112	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	14	14	
計	1,768	1,096	2,939	213	265	484	136	178	325	278	39	317	645	1,000	1,645	0	130	130	0	0	0	0	0	90	27	117	14	9	23	

- ・その他：児童クラブ、子ども会等

【倉敷市立自然史博物館中期計画の点検(2019～2023年度)】

表の見方: ①目標値は設定することができないもののみ、②赤字は目標値に達していないと思われる項目は講評を目標とする、③網掛けは累計数値

大項目:使命	中項目	番	評価指標	参考値	現状値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	凡例(累計以外は年度集計)	番		
				2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度					
集めて未来につなげる 博物館は、倉敷市とそれにつながる地域の自然の情報拠点として、人類共通の財産である標本・文献等の資料を積極的に収集・保管し、次世代に引き継ぐことで、過去から現在そして未来への懸け橋となります。	資料の収集に努めているか	1	一次資料収蔵点数	856,261	938,163	973,030						—	1		
		2	二次資料採集点数	523	367	496							—	2	
		3	二次資料寄贈点数	29,837	81,535	58,396							—	3	
		4	一次資料登録点数	471,607	485,955	498,886				560,000			登録済資料点数累計	4	
		5	一次資料データベース入力点数	444,134	457,448	468,863				535,000			上記のうちデータが電子化されている点数	5	
		6	二次資料登録点数(図書)	11,902	12,506	12,875							登録・入力済点数累計	6	
		7	二次資料登録点数(雑誌)	34,818	35,946	38,852							登録・入力済点数累計	7	
		8	一次資料利用件数	111	213	176				250			来館利用回数+貸出手続き回数, ボランティア除く	8	
		9	二次資料利用件数	12	12	49							来館利用回数+貸出手続き回数	9	
		10	一次資料利用著作件数	27	29	37							収蔵資料を引用した著作件数, 出版後寄贈含む	10	
		11	博物館のお宝探検開催回数	25	46	27							単独開催+イベント	11	
		12	博物館のお宝探検参加者数	—	—	481							単独開催+イベント	12	
教養文化の向上をめざす 博物館は、自然に関する調査研究を行い、その成果を展示や教育普及活動により発信し、学習機会を提供することで、人々の自然への興味・関心や学習意欲を高め、教養文化の向上に寄与します。	調査研究を行っているか	13	野外調査回数	70	43	72						—	13		
		14	館員著作件数	145	122	131						150	館内刊行物(バオ, 研報)+館外刊行物	14	
		15	特別展総観覧者数	20,004	10,015	12,622							—	15	
		16	特別展日平均観覧者数	322.6	178.8	148.5							250	総観覧者/会期日数	16
		17	特別展満足度	91	—	92							85%	%、大変満足+満足/5段階評価	17
		18	特別陳列開催件数	4	6	10							—	—	18
		19	常設展・一時展示更新回数	11	10	15							—	—	19
		20	館員講演件数	10	8	8							10	—	20
		21	観察会参加者数	675	680	789							800	館行事(研究紹介, スライド)+館外	21
		22	博物館講座参加者数	184	214	184							250	—	22
		23	各種教室等参加者数	474	478	309							500	—	23
		24	出前講座等参加者数	949	1,125	1,572							1,300	—	24
25	自然史博物館まつり参加者数	8,395	8,825	5,701							9,000	—	25		
26	自然史博物館まつり満足度	95.1	98.7	95.2							95%	%、大変満足(非常に良い)+満足(良い)/5段階評価	26		
27	自然史博物館まつりに参加している子どもの数	594	378	577							700	—	27		
人づくりを担う 博物館は、その活動・事業を通じて様々な世代の人々の多様な学習やボランティア活動を支援し、自然と人が共生し未来につながる持続可能な社会の実現に貢献する人材を育てます。	ボランティアが活動できているか	28	展示メンテナンス延べ人数	56	32	47						40	ミニ水族館	28	
		29	展示ガイド回数	37	29	28							40	昆虫ガイド	29
		30	資料作成・整理延べ人数	709	1,327	742							800	脊椎グループ、動物、昆虫、植物	30
		31	次世代の育成ができていますか	21	21	24							25	高校生時までに当館に通い、卒業後自然史系の大学・職業等に進んだ累積人数	31
		32	職場体験受入れ人数	31	15	21							30	中学生	32
		33	博物館実習・インターン受入れ人数	4	5	4							5	大学生	33
		34	共著著作件数	20	18	20							30	館員と館外者の共著著作件数	34
		35	編集委員(校閲員)を務めた出版物	21	21	31							—	—	35
		36	レファレンス件数	964	990	976							1,000	—	36
		37	倉敷まちかど博物館申請件数	13	11	17							15	—	37
		38	倉敷まちかど博物館貸出回数	41	40	34							50	—	38
		39	学校用標本貸出件数	2	1	2							3	—	39
40	他館等協力展示件数	2	0	5							1	—	40		
41	共催行事件数	46	41	42							45	—	41		
42	講師派遣行事数	9	6	7							10	—	42		
43	出前講座等講師派遣件数	29	25	36							30	—	43		
44	会議派遣件数	29	32	30							—	—	44		
連携して共に成長する 博物館は、学校、地域や博物館友の会等の多様な主体と連携・協力して、専門的力量とともに総合的な力を高め、活動の充実・発展を図ります。	収蔵資料の連携した活用ができていますか	45	正規職員数	6	6	6						—	45		
		46	嘱託職員数	5	5	5							—	46	
		47	占有延べ床面積(mf)	3,263.08	3,263.08	3,263.08							—	47	
		48	一時使用床面積(mf)	189	189	189							—	48	
		49	内収蔵面積(mf)	677.87	677.87	677.87							—	49	
		50	歳出総額	90,351,482	84,908,844	85,157,892							—	—	50
		51	館歳入	2,191,178	1,639,674	1,378,154							—	—	51
		52	全体利用者数	75,740	49,658	45,123							60,000	—	52
		53	来館者数	54,720	48,445	43,413							55,000	—	53
		54	外国人観覧者数	30	164	183							—	—	54
		55	子ども観覧者数	18,213	18,491	15,453							20,000	—	55
		より魅力的な博物館をめざす 博物館は、人的・物的・財政的な基盤を確保し、適切に管理・運営します。さらに、事業の評価・改善や広報活動を通じて、利用者サービスや社会的価値の向上に努め、より魅力的な博物館をめざします。	広く利用され、満足されているか	56	学校園等団体利用件数	159	185	179						200	—
57	来館者総合満足度			84	86	86							85%	%、大変満足+満足/5段階評価	57
58	友の会会員数			824	880	876							1,000	—	58
59	マスコミ報道件数			87	76	41							90	—	59
60	ホームページアクセス数			—	—	26,156							50,000	—	60
61	メールマガジン登録者数			986	1,074	756							1,500	—	61
62	メールマガジン配信数			35	18	13							—	—	62
63	Twitter投稿数			112	158	219							200	—	63
64	Twitterフォロー数			—	110	369							600	—	64
65	Instagram投稿数			—	38	41(修正値)							100	—	65
66	Instagramフォロー数			—	137	269							300	—	66
67	施設の改善件数			—	—	8							10	—	67
68	運営面の改善件数	—	—	7							10	—	68		
69	研修参加回数	32	17	30							30	—	69		
70	職員の対応に対する満足度	82*	82*	88							85%	%、大変満足+満足/5段階評価(*年間一部)	70		

## 倉敷市立自然史博物館の運営方針

平成30年12月7日

### 1 理念（コンセプト）

倉敷市立自然史博物館は、郷土倉敷とそれにつながる地域の自然と人との関わりについて、市民の関心や理解を深め、学習を支援することにより、市民の教養と地域文化の向上に寄与します。

### 2 使命（ミッション）—理念実現に向けて—

倉敷市立自然史博物館（以下「博物館」という。）は、理念の実現に向けて、次に掲げる使命を持って、資料の収集・保管、調査研究、展示及び教育普及活動を推進します。

#### ○集めて未来につなげる

博物館は、倉敷市とそれにつながる地域の自然の情報拠点として、人類共通の財産である標本・文献等の資料を積極的に収集・保管し、次世代に引き継ぐことで、過去から現在そして未来への懸け橋となります。

#### ○教養文化の向上をめざす

博物館は、自然に関する調査研究を行い、その成果を展示や教育普及活動により発信し、学習機会を提供することで、人々の自然への興味・関心や学習意欲を高め、教養文化の向上に寄与します。

#### ○人づくりを担う

博物館は、その活動・事業を通じて様々な世代の人々の多様な学習やボランティア活動を支援し、自然と人が共生し未来につながる持続可能な社会の実現に貢献する人材を育てます。

#### ○連携して共に成長する

博物館は、学校、地域や博物館友の会等の多様な主体と連携・協力して、専門的力量とともに総合的な力を高め、活動の充実・発展を図ります。

#### ○より魅力的な博物館をめざす

博物館は、人的・物的・財政的な基盤を確保し、適切に管理・運営します。さらに、事業の評価・改善や広報活動を通じて、利用者サービスや社会的価値の向上に努め、より魅力的な博物館をめざします。

## 倉敷市立自然史博物館の資料収集方針

平成30年12月7日

倉敷市立自然史博物館は、その使命（ミッション）に基づき、資料を収集・保管するものとし、収集対象資料は次のとおりとする。

収集対象は、自然史関連の実物標本、レプリカ、文献、画像、映像等とし、次のいずれかに該当するものとする。

### 1 地勢的・気候的又は生物地理学的に倉敷市及びそれに関連する地域に関する資料

〔説明〕

地質・地形及び生物相に関するもので、過去から現在、未来へと変遷の検証が可能なものの収集に努める。また、収集地域には学術の見地から、当市と地勢的・気候的に関連した近隣地域（高梁川流域・山陽・瀬戸内など）又は生物地理学的に関連のある地域を含めるものとする。

### 2 展示を中心とした教育普及又は研究に活用できる資料

〔説明〕

地球の歴史と生命の進化及び生物多様性といった学校教育や社会で重視されている分野の研究・教育普及に活用できる資料の収集に努める。

○倉敷市立自然史博物館条例

昭和58年9月22日  
条例第28号

(目的及び設置)

第1条 自然史に関する科学について、資料を収集し、保管し、展示するとともに、その調査研究及び普及指導を行い、市民の教養文化の向上に寄与することを目的として本市に自然史博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
倉敷市立自然史博物館	倉敷市中央2丁目6番1号

(事業)

第3条 博物館は、その目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 自然史に関する実物、標本、文献、図書、図表、写真、フィルム等(以下「博物館資料」という。)を収集し、保管し、展示すること。
- (2) 博物館資料を利用させること。
- (3) 自然史に関する科学についての調査研究並びに博物館資料の保管及び展示等に関する技術的研究を行うこと。
- (4) 自然史に関する講習会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- (5) 他の博物館、学校、研究所等と連携協力し、刊行物及び情報の交換並びに博物館資料の相互貸借等を行うこと。
- (6) その他自然史に関する科学に関する事業

(職員)

第4条 博物館に館長、学芸員その他必要な職員を置く。

(常設展及び特別展)

第5条 博物館は、博物館資料を常時展示する常設展及び特別展を開催する。

2 常設展又は特別展を観覧しようとする者は、別表第1又は別表第2に定める観覧料を納付しなければならない。

3 前項の観覧料は、観覧の際、納付するものとする。

(博物館資料の利用)

第6条 博物館は、その所蔵する博物館資料を学術的研究等のために利用させることができる。

2 前項の博物館資料を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

3 教育委員会は、前項の許可に当たり、管理上必要な条件を付することができる。

(講義室の使用)

第7条 自然史に関する科学についての講習会、研究会等のため、博物館に講義室を設置する。

2 教育委員会は、前項の設置目的又は博物館の業務に支障を及ぼさない範囲内において、講習会、研究会等のため、講義室を使用させることができる。

3 講義室を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

4 教育委員会は、前項の許可に当たり、管理上必要な条件を付することができる。

5 第3項の許可を受けた者は、別表第3に定める使用料を納付しなければならない。

6 前項の使用料は、その許可の際、納付しなければならない。ただし、教育委員会において特別の理由があると認めるときは、別に納期限を定めて納付させることができる。

(使用料等の還付)

第8条 既納の観覧料及び使用料(以下「使用料等」という。)は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を教育委員会規則で定めるところにより還付することができる。

- (1) 災害その他使用者の責めに帰することができない理由により使用不能となつたとき。
- (2) 使用者が使用開始前に使用の取消しを届け出た場合で、教育委員会において相当の理由があると認めるとき。
- (3) 使用者が使用開始前に使用許可の変更を申請した場合で、教育委員会において相当の理由があると認めるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会において相当の理由があると認めるとき。

(使用料等の減免)

第9条 教育委員会は、公益上必要があると認めるときは、使用料等を減免することができる。

(目的外使用等の禁止)

第10条 第6条第2項又は第7条第3項の許可を受けた者は、その許可を受けた目的以外に使用し、又はその権利を他に譲渡し、若しくは転貸してはならない。

(入館の制限等)

第11条 教育委員会は、次の各号の一に該当する者に対しては、博物館への入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 酩酊して他人に迷惑をかけるおそれのある者
- (2) 他人に危害を及ぼし、又は迷惑をかけるおそれのある物品又は動物の類を携行する者
- (3) 許可なくして営業行為をし、又は張り紙若しくは広告を行う者
- (4) 施設又は博物館資料を損傷するおそれがあると認める者
- (5) 秩序又は風俗を乱すおそれがあると認める者
- (6) その他管理上支障があると認める者

(損害賠償)

第12条 施設又は博物館資料を損傷又は滅失した者は、教育委員会の指示に基づき、これを原形に復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会においてやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

(博物館協議会の設置)

第13条 博物館に倉敷市立自然史博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会は、委員15人以内で組織する。

3 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱し、又は任命する。

- (1) 学校教育及び社会教育の関係者
  - (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
  - (3) 学識経験を有する者
  - (4) 前3号に掲げる者のほか、教育委員会が必要と認める者
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、委員に欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 委員は、再任することができる。

(協議会の職務)

第14条 協議会は、博物館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、館長に対し、意見を述べる機関とする。

(委任)

第15条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例の施行期日は、規則で定める。  
(昭和58年10月規則第53号で、同58年11月3日から施行)

(関係条例の改正)

2 特別職の職員で非常勤のものの報酬および費用弁償に関する条例(昭和42年倉敷市条例第23号)の一部を次のように改正する。

別表中「

展示美術館協議会委員	同	5,000円	同
------------	---	--------	---

」の次に「

自然史博物館協議会委員	同	5,000円	同
-------------	---	--------	---

」を加える。

附 則(昭和62年6月30日条例第43号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成3年9月30日条例第17号)

(施行期日)

1 この条例は、平成3年10月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例による改正後の各種使用料等に係る規定は、この条例の施行の日以後に使用等の許可を受けた者について適用し、同日前に使用等の許可を受けた者については、なお従前の例による。

附 則(平成9年3月25日条例第4号)

(施行期日)

1 この条例は、平成9年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例による改正後の各種使用料等に係る規定は、この条例の施行の日以後に使用等の許可を受けた者について適用し、同日前に使用等の許可を受けた者については、なお従前の例による。

附 則(平成12年3月24日条例第28号)

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成18年3月24日条例第39号)

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月16日条例第11号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成25年12月26日条例第50号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

(その他の使用料等に係る経過措置)

6 この条例(第1条及び第34条を除く。)による改正後の各種使用料等に係る規定は、施行日以後に使用許可その他の行為が行われるものに係る使用料等について適用し、施行日前に当該行為が行われたものに係る使用料等については、なお従前の例による。

附 則(平成31年3月22日条例第3号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成31年10月1日から施行する。

(その他の使用料等に係る経過措置)

6 この条例(第2条及び第32条を除く。)による改正後の各種使用料等に係る規定は、施行日以後に使用許可その他の行為が行われるものに係る使用料等について適用し、施行日前に当該行為が行われたものに係る使用料等については、なお従前の例による。

別表第1(第5条関係)

常設展観覧料

区分	個人	団体(20人以上)
一般	1人1回 150円	1人1回 100円
大学生	1人1回 50円	1人1回 30円
高校生以下	無料	

備考 金額には消費税及び地方消費税を含む。

別表第2(第5条関係)

特別展観覧料

区分	個人	団体(20人以上)
一般	1人1回につき550円の範囲内で教育委員会が別に定める額	
大学生	同	
高校生以下	同	

備考 金額には消費税及び地方消費税を含む。

別表第3(第7条関係)

講義室使用料

使用場所/使用時間	基本使用料			冷暖房の使用
	午前9時から午後12時まで	午後1時から午後5時まで	午前9時から午後5時まで	
講義室	440円	660円	1,100円	1時間につき770円

備考

1 冷暖房の使用時間の計算については、30分未満は切り捨て、30分以上は1時間として取り扱うものとする。

2 金額には消費税及び地方消費税を含む。



○倉敷市立自然史博物館条例施行規則

昭和58年10月14日  
教育委員会規則第15号

(趣旨)

第1条 この規則は倉敷市立自然史博物館条例(昭和58年倉敷市条例第28号。以下「条例」という。)の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 倉敷市立自然史博物館(以下「博物館」という。)の開館時間は、午前9時から午後5時15分までとする。ただし、博物館への入館は閉館時刻の30分前までとする。

2 前項の規定にかかわらず、館長において必要があると認めるときは、開館時間を変更することができる。

(休館日)

第3条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日(この日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い同法に規定する休日でない日とする。)

(2) 12月28日から翌年の1月4日まで、  
2 館長は、必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。

(観覧券の交付)

第4条 条例第5条の規定により観覧料を納付したものに對して観覧券を交付するものとする。

2 教育委員会は必要と認めるとき、特別観覧券又は優待券を発行することができる。

3 観覧券の発売時間は、開館時刻から閉館時刻の30分前までとする。

(入館者の遵守事項)

第5条 入館者は、条例に規定するもののほか、次の事項を守らなければならない。

(1) 小学校就学前の幼児は、保護者又はそれに相当するものと同伴すること。  
(2) 所定の場所以外で、喫煙又は飲食をしないこと。  
(3) その他館長が必要と認め指示した事項

(資料の寄贈)

第6条 博物館に資料を寄贈しようとするもの(以下「寄贈者」という。)は、所定の寄贈申請書を館長に提出しなければならない。

2 前項の申請について、当該資料が博物館の資料として、適当と認められるときは、館長は、所定の受領書を当該寄贈者に交付し、寄贈を受けるものとする。

(資料の寄託)

第7条 博物館に資料を寄託しようとするもの(以下「寄託者」という。)は、所定の寄託申請書を館長に提出しなければならない。

2 前項の申請について、当該資料が博物館の資料として適当と認められるときは、館長は所定の資料受託書を当該寄託者に交付し、寄託を受けるものとする。

(資料の返還)

第8条 寄託者が寄託期間中に、資料の返還を請求するときは、それが適当と認められるとき、館長に所定の返還申請書を提出し、資料受託書を引き替えに資料を返還するものとする。

(資料の貸し出し)

第9条 条例第6条の規定により、博物館の資料貸し出しを受けようとする者は、所定の貸出許可申請書を館長に提出しなければならない。

2 前項の申請について、当該資料の貸し出しを適当と認められるときは、館長は当該申請者に対し所定の貸出許可書を交付し、資料を貸し出すものとする。

3 資料の貸し出し期間は30日以内とする。ただし、館長が特に必要と認めるときはこの限りでない。

(講義室の使用)

第10条 条例第7条の規定により講義室の使用許可を受けようとする者は、所定の使用許可申請書を館長に提出しなければならない。

2 前項の使用許可をしたときは、館長は所定の使用許可書を当該申請者に交付するものとする。

(使用者の遵守事項)

第11条 前条の規定により使用許可を得たものは、次の事項を守らなければならない。

(1) 定められた場所以外で火気を使用しないこと。  
(2) 許可を受けた設備以外は使用しないこと。  
(3) 使用を受けた施設及び附属設備を管理し、取り締りの責任をもつこと。  
(4) その他館長が必要と認め指示した事項

(使用料等の還付)

第12条 条例第8条ただし書の規定により、使用料又は観覧料の還付を受けようとする者は、所定の還付申請書を教育委員会に提出しなければならない。

2 使用料又は観覧料の還付率は、次のとおりとする。  
(1) 条例第8条第1号に該当する場合 100パーセント

(2) 条例第8条第2号に該当する場合で、使用日の2日前までに第8条に規定する使用取消届を提出したとき50パーセント

(3) 条例第8条第3号に該当する場合で、使用日の2日前までに第8条に規定する変更許可申請がなされたとき 変更前と変更後の使用料の差額の50パーセント

(4) 条例第8条第4号に該当する場合 教育委員会が相当であると認める率

(使用料等の減免)

第13条 条例第9条に規定する使用料等の減免については、次のとおりとする。

(1) 小学校、中学校、高等学校及びこれに準ずる学校の教職員が、学習活動のため児童又は生徒を引率して観覧するとき 観覧料の全額を免除

(2) 65歳以上の老人及び心身障害者が観覧するとき心身障害者の場合はその介護人1名を含めて観覧料の全額を免除

(3) 市又は市教育委員会が主催若しくは共催する自然史に関する事業で講義室を使用するとき 使用料の全額を免除

(4) 社会教育関係団体が主催する自然史に関する事業で講義室を使用するとき 使用料の全額を免除

(5) その他教育委員会が相当と認めるとき 教育委員会が相当と認める額を免除

2 前項第1号、第3号、第4号及び第5号に該当する場合は、教育委員会に所定の減免申請書を提出しなければならない。

(博物館協議会の運営)

第14条 条例第13条及び第14条に規定する倉敷市立自然史博物館協議会(以下「協議会」という。)に会長、副会長を置く。

2 会長、副会長は委員の互選により定める。

3 会長は会務を総理し、協議会を代表し、会議の議長となる。

4 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。

5 会議は会長が招集する。

6 協議会は委員の過半数の出席により開催し、議事は出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長が裁決する。

7 協議会に専門部会を置くことができる。

8 協議会の庶務は、博物館において行なう。

9 前項までに規定するもののほか、協議会の運営について必要な事項は、会長が協議会に諮り定める。

(報告)

第15条 館長は、その月の博物館の利用状況について、翌月5日までに、文書により教育長に報告しなければならない。

(服務、文書の取り扱い等)

第16条 職員の服務、文書の取り扱い等については、倉敷市教育委員会事務局処務規則(昭和47年倉敷市教育委員会規則第14号)の例による。

(その他)

第17条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は教育委員会が別に定める。

附 則

この規則は、昭和58年11月3日から施行する。

附 則(昭和62年3月25日教委規則第7号)  
この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成3年6月25日教委規則第4号)  
この規則は、平成3年7月1日から施行する。

附 則(平成8年1月11日教委規則第2号)  
この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成12年3月24日教委規則第9号)  
この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成14年3月25日教委規則第6号)  
この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成17年7月27日教委規則第22号)  
この規則は、平成17年8月1日から施行する。

附 則(平成17年12月20日教委規則第36号)  
この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成18年3月24日教委規則第9号)  
この規則は、平成18年4月1日から施行する。

○特別職の職員で非常勤のものの報酬および費用弁償に関する条例(一部抜粋)

昭和42年2月1日  
条例第23号

(報酬)

第2条 報酬の額は別表のとおりとする。

別表(第2条関係)

区分	報酬の額
自然史博物館協議会委員	日額 7,100円

○利用案内

[開館時間]  
9時～17時15分(入館は16時45分まで)

[休館日]

月曜日(祝日または振替休日の時は、その翌日)、  
年末年始(12月28日～1月4日)、臨時休館日。

[観覧料]

一般：150円(100円)  
大学生：50円(30円)  
高校生以下：無料  
・かつこ内は20名以上の団体の場合。  
・65歳以上の方、障がい者とその介護者1名は無料。

[交通案内]

・自家用車の場合は付近の有料駐車場をご利用ください。  
・JR倉敷駅より、南へ徒歩約15分、または路線バスで「大原美術館前」下車。



倉敷市立自然史博物館報 第31号 (令和3年度)

---

令和4年7月1日発行

発行者 倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央2-6-1

電話 (086)425-6037

FAX (086)425-6038

E-mail: [musnat@city.kurashiki.okayama.jp](mailto:musnat@city.kurashiki.okayama.jp)

<https://www.city.kurashiki.okayama.jp/musnat/>